

**令和 2 年度**  
**福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の**  
**点検・評価報告書**

**令和 4 年 3 月**

**福井市教育委員会**

## 目 次

1	はじめに	1
2	点検・評価方法等	2
3	令和2年度 福井市教育委員会の活動状況	3
4	令和2年度 各種審議会等審議状況	8
5	令和2年度 教育に関する事務の管理及び執行状況	20
6	学識経験者の知見	66

## 1 はじめに

本報告書「令和2年度福井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」(以下、「点検・評価報告書」という。)は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が令和2年度の福井市教育振興基本計画の成果報告とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

### 【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価方法等

### (1) 対象期間

令和2年度(令和2年4月～令和3年3月)

### (2) 点検・評価方法

点検・評価報告書案の作成

・教育委員会において点検・評価報告書案を作成

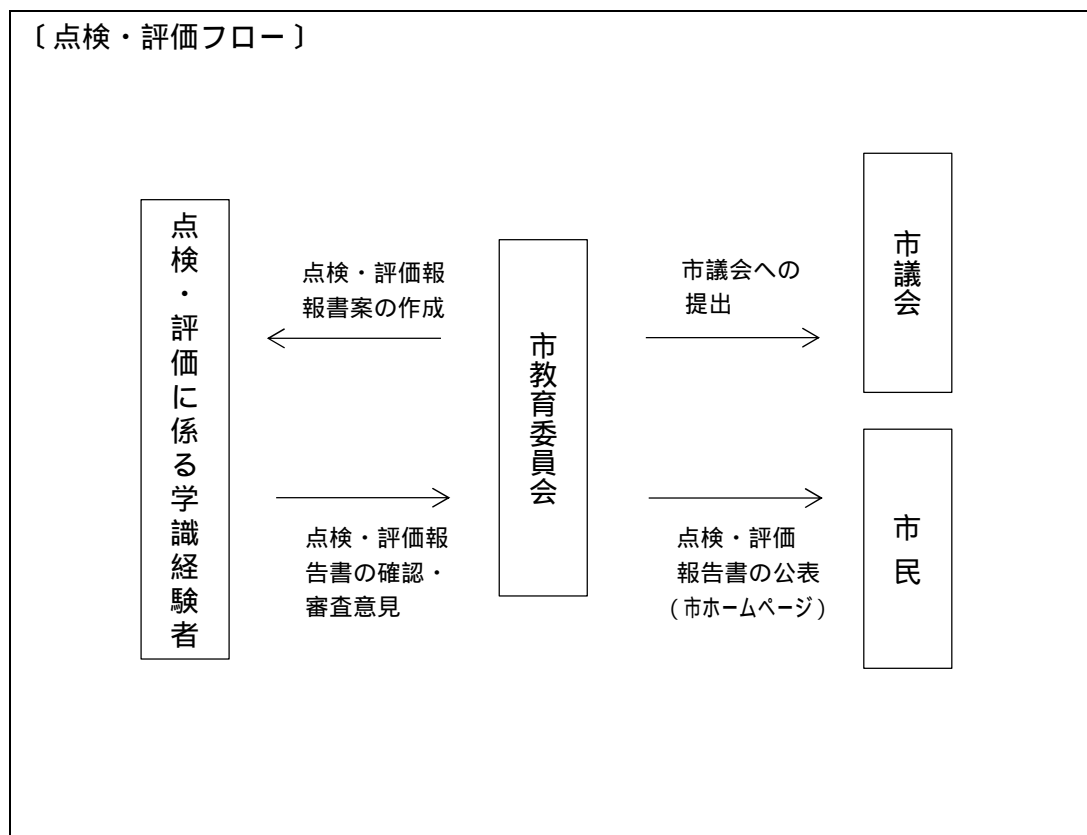
点検・評価報告書の確認・審査意見

・学識経験者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査  
市議会への提出

・点検・評価報告書を市議会に提出

点検・評価報告書の公表

・点検・評価報告書を市のホームページにおいて公表



### 3 令和2年度 福井市教育委員会の活動状況

#### (1) 福井市教育委員会委員の構成 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

職名	氏名	任期	職業等
教育長	吉川 雄二	令和2年6月27日～ 令和5年6月26日	元教員
教育長職務代理者	春木 伸一	令和2年12月22日～ 令和6年12月21日	医師
委員	木村 敦子	平成30年10月1日～ 令和4年9月30日	看護師 (保護者)
委員	多田 和博	平成29年12月24日～ 令和3年12月23日	会社役員
委員	宮郷 美千代	令和元年12月18日～ 令和5年12月17日	団体職員 (保護者)

#### (2) 教育委員会の開催状況

委員会	開催日	請願件数	議案件数	報告件数
令和2年4月定例会	4月6日	0	1	1
5月定例会	5月25日	0	4	4
6月定例会	6月26日	0	4	1
7月定例会	7月22日	0	2	2
8月定例会	8月24日	0	2	2
9月定例会	9月30日	0	0	0
10月定例会	10月26日	0	3	0
11月定例会	11月18日	0	5	0
12月定例会	12月23日	0	0	0
令和3年1月定例会	1月29日	0	2	0
2月定例会	2月17日	0	3	0
3月定例会	3月25日	0	4	0
計		0	30	10

( 3 ) 教育委員会審議案件

開催日	内 容	
令和 2 年 4 月 6 日 ( 定例 )	第 1 号議案 第 1 号報告	福井市社会教育功労者表彰について 専決処分(福井市結核対策委員会委員の委嘱)の承認を求める ことについて
令和 2 年 5 月 25 日 ( 定例 )	第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案 第 2 号報告 第 3 号報告 第 4 号報告 第 5 号報告	市議会定例会提出議案(専決処分の報告について)に同意する ことについて 市議会定例会提出議案(令和 2 年度福井市一般会計補正予算) に同意することについて 福井市文化財保護委員の委嘱についてについて 福井市美術館運営協議会委員の委嘱についてについて 専決処分(福井市教育委員会職務権限規程の一部改正)の承認 を求めることについて 専決処分(福井市通学区域審議会委員の委嘱)の承認を求める ことについて 専決処分(令和 3 年度使用福井県義務教育諸学校教科用図書採 択福井・高志地区協議会の設置)の承認を求めることについて 専決処分(福井市社会教育委員の会議等に関する規則の一部改 正)の承認を求めることについて
令和 2 年 6 月 26 日 ( 定例 )	第 6 号議案 第 7 号議案 第 8 号議案 第 9 号議案 第 6 号報告	令和 2 年度の第 1 学期終業日、第 2 学期始業日及び休業日の特 例措置について 福井市少年愛護センター運営委員会委員の委嘱について 福井市少年自然の家運営協議会委員の委嘱について 福井市文化財保護委員の委嘱について 専決処分(福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱)の承認を求 めることについて
令和 2 年 7 月 22 日 ( 定例 )	第 10 号議案 第 11 号議案 第 7 号報告 第 8 号報告	市議会定例会提出議案(専決処分の承認を求めることについて) に同意することについて 学校嘱託医の退職に伴う福井市学校嘱託医功労者表彰について 専決処分(福井市学校給食運営委員会委員の委嘱)の承認を求 めることについて 専決処分(福井市図書館協議会委員の委嘱)の承認を求めるこ とについて
令和 2 年 8 月 24 日 ( 定例 )	第 12 号議案 第 13 号議案 第 9 号報告	市議会定例会提出議案(令和 2 年度福井市一般会計補正予算) に同意することについて 令和 3 年度使用小中学校教科用図書の採択について 専決処分(福井市通学区域審議会委員の委嘱)の承認を求め ることについて

	第 10 号報告	専決処分（福井市通学区域審議会委員の委嘱）の承認を求めることについて
令和 2 年 9 月 30 日 （定例）		審議案件なし
令和 2 年 10 月 26 日 （定例）	第 14 号議案 第 15 号議案 第 16 号議案	市議会定例会提出議案（専決処分の報告について）に同意することについて 福井県和敬学園における小学校及び中学校の設置について 福井市社会教育功労者表彰について
令和 2 年 11 月 18 日 （定例）	第 17 号議案 第 18 号議案 第 19 号議案 第 20 号議案 第 21 号議案	市議会定例会提出議案（令和 2 年度福井市一般会計補正予算）に同意することについて 市議会定例会提出議案（福井市学校設置条例の一部改正について）に同意することについて 市議会定例会提出議案（財産の取得について）に同意することについて 市議会定例会提出議案（財産の取得について）に同意することについて 市議会定例会提出議案（福井市少年自然の家の指定管理者の指定について）に同意することについて
令和 2 年 12 月 23 日 （定例）		審議案件なし
令和 3 年 1 月 29 日 （定例）	第 22 号議案 第 23 号議案	市議会定例会提出議案（福井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について）に同意することについて 市議会定例会提出議案（福井市公民館設置に関する条例の一部改正について）に同意することについて
令和 3 年 2 月 17 日 （定例）	第 24 号議案 第 25 号議案 第 26 号議案	市議会定例会提出議案（令和 2 年度福井市一般会計補正予算）に同意することについて 市議会定例会提出議案（令和 3 年度福井市一般会計予算）に同意することについて 福井市図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
令和 3 年 3 月 25 日 （定例）	第 27 号議案 第 28 号議案 第 29 号議案 第 30 号議案	福井市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の制定について 福井市教育委員会公印規則の一部改正について 福井市少年愛護センター運営委員会規則の制定について 市指定文化財の指定について

( 4 ) 教育委員の活動状況

令和 2 年	教育委員会事務局辞令交付式	吉川教育長
4 月 1 日	社会教育指導員委嘱状交付式	吉川教育長
4 月 3 日	公民館館長委嘱状交付式	吉川教育長
	公民館主事委嘱状交付式	吉川教育長
4 月 6 日	4 月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、 多田委員、宮郷委員
4 月 24 日	福井市公民館連絡協議会総会	吉川教育長
5 月 15 日	あすの福井県を創る協会理事会	吉川教育長
5 月 25 日	5 月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、 多田委員、宮郷委員
6 月 26 日	6 月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、 多田委員、宮郷委員
6 月 20 日	福井市 P T A 連合会総会	吉川教育長
6 月 24 日	不死鳥のねがい推進協議会総会	吉川教育長
6 月 30 日	あすの福井県を創る協会総会	吉川教育長
7 月 10 日	令和 2 年度第 1 回福井市総合教育会議	吉川教育長、春木委員、木村委員、 多田委員、宮郷委員
	不死鳥友の会 4 0 周年記念誌贈呈	吉川教育長
7 月 17 日	第 1 回社会教育委員の会議	吉川教育長
7 月 18 日	順化公民館移転複合化完成お披露目会	吉川教育長
7 月 22 日	7 月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、 多田委員、宮郷委員
8 月 20 日	県連合青年団表敬訪問	吉川教育長
8 月 24 日	8 月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、 多田委員、宮郷委員
9 月 30 日	9 月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、 多田委員、宮郷委員
10 月 9 日	学校訪問 ( 岡保小学校 )	木村委員
10 月 15 日	福井県社会教育連絡協議会伝達表彰	吉川教育長
10 月 20 日	学校訪問 ( 大安寺小中学校 )	多田委員、宮郷委員
10 月 22 日	市公連・運審連からの要望書受取	吉川教育長
10 月 26 日	10 月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、 多田委員、宮郷委員
10 月 27 日	福井市社会教育功労者表彰式	吉川教育長、春木委員、木村委員、 多田委員、宮郷委員
11 月 5 日	全国都市教育長協議会理事会	吉川教育長
11 月 12 日	学校訪問 ( 長橋小学校 )	木村委員、宮郷委員
11 月 13 日	学校訪問 ( 美山啓明小学校 )	多田委員



11月 18日	学校訪問（六条小学校）	多田委員
11月 18日	11月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、多田委員、宮郷委員
11月 25日	学校訪問（湊小学校）	木村委員
11月 26日	学校訪問（旭小学校）	木村委員
11月 30日	学校訪問（社中学校）	宮郷委員
	モバイルWi-Fiルーター贈呈式	吉川教育長
12月 3日	学校訪問（一乗幼稚園及び小学校）	春木委員
12月 7日	学校訪問（至民中学校）	宮郷委員
12月 10日	東郷公民館からの要望書受取	吉川教育長
12月 18日	学校訪問（東藤島小学校）	宮郷委員
12月 23日	12月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、多田委員、宮郷委員
令和3年 1月 10日	成人式	吉川教育長
1月 11日	市連婦新年のつどい	吉川教育長
1月 29日	1月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、多田委員、宮郷委員
1月 30日	福井市PTA連合会研究大会	吉川教育長
2月 3日	市PTA連合会市長・教育長と語る会	吉川教育長
2月 17日	2月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、多田委員、宮郷委員
2月 18日	不死鳥のねがい推進協議会常任委員会	吉川教育長
3月 25日	3月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員、多田委員、宮郷委員
3月 26日	第2回社会教育委員の会議	吉川教育長
3月 29日	市PTA連合会からの要望書受取	吉川教育長

## 4 令和2年度各種審議会等審議状況

### 各種審議会等一覧

審議会等名称	所管所属
(1) 福井市学校不適応対策推進会議	学校教育課
(2) 福井市教育支援委員会	学校教育課
(3) 福井市学校規模適正化検討委員会	学校教育課
(4) 福井市結核対策委員会	保健給食課
(5) 福井市学校給食運営委員会	保健給食課
(6) 福井市新学校給食センターPFI等選定委員会	保健給食課
(7) 社会教育委員の会議	生涯学習課
(8) 福井市少年愛護センター運営委員会	青少年課
(9) 福井市青少年問題協議会	青少年課
(10) 福井市少年自然の家運営協議会	青少年課少年自然の家
(11) 福井市スポーツ推進審議会	スポーツ課
(12) 福井市文化奨励賞選考委員会	文化振興課
(13) 福井市文化財保護委員会	文化財保護課
(14) 福井市自然史博物館運営協議会	自然史博物館
(15) 福井市美術館運営協議会	美術館
(16) 福井市立郷土歴史博物館運営協議会	郷土歴史博物館
(17) 福井市図書館協議会	図書館・みどり図書館・桜木図書館

### (1) 福井市学校不適応対策推進会議（学校教育課）

委員数	12人	会議開催数	3回
年月日	令和2年 8月28日 令和3年 1月27日 令和3年 3月17日	種別	審議
内容	<p>件名 ・福井市適応指導教室「チャレンジ教室」の活動全般に対する支援について ・ライフパートナー事業について</p> <p>案件概要 1回目 ・チャレンジ教室の昨年度の状況、今年度の取組について審議 ・コロナ禍によるライフパートナー事業の在り方について審議 2回目 ・チャレンジ教室の状況、今後の取組について審議 3回目 ・チャレンジ教室の今年度の取組と次年度の在り方について審議</p> <p>主な意見 ・チャレンジ教室に通室した児童の約70%の子どもが学校とつながることができたことはよかった。 ・オンラインによる支援が運用されたとのことだが、コロナ禍でなくても、オンラインを継続し、直接派遣と併用できるとよいのではないか。</p>		

( 2 ) 福井市教育支援委員会 ( 学校教育課 )

委員数	35 人	会議開催数	12 回
年月日	令和 2 年 4 月 23 日 令和 2 年 5 月 21 日 令和 2 年 7 月 27 日 令和 2 年 7 月 28 日 令和 2 年 8 月 6 日 令和 2 年 8 月 7 日 令和 2 年 9 月 17 日 令和 2 年 9 月 18 日 令和 2 年 12 月 10 日 令和 2 年 12 月 11 日 令和 3 年 2 月 18 日 令和 3 年 2 月 19 日	種別	審議
内容	<p>件 名 ・教育支援委員会において、子どもたちの支援の方向性や、のぞましい学びの場として就学先の検討</p> <p>・就学相談会の実施 ( コロナ感染予防から相談会は中止。園において個別相談を実施 )</p> <p>案件概要 ・福井市が委嘱した教育支援委員が、園や小中学校において、調査を行う。</p> <p>・本人の教育的ニーズ、障がいの状態、本人・保護者の意見、教育学、医学、心理学等専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえた総合的な観点から就学先について情報提供を行う。就学先決定時のみならず、その後の一貫した支援についても助言を行う。</p> <p>主な意見 ・新型コロナウイルス感染症予防のために相談会を中止したため、やり方は変更したものの、例年通り個別訪問において、保護者に情報提供を行い、子どもたちの実態把握を行うとともに、合意形成を図ることができた。</p>		

( 3 ) 福井市学校規模適正化検討委員会 ( 学校教育課 )

委員数	9 人	会議開催数	1 回
年月日	令和 2 年 5 月 26 日	種別	審議
内容	<p>件 名 第 7 回 福井市学校規模適正化検討委員会</p> <p>案件概要 ・答申の内容の最終確認</p> <p>主な意見 ・答申が児童生徒の心身の健やかな成長に寄与し、福井市の小中学校の教育環境の整備及び学校教育の充実に役立つことを願う。</p>		

( 4 ) 福井市結核対策委員会 ( 保健給食課 )

委員数	7 人	会議開催数	1 回
年月日	令和 2 年 7 月 15 日	種別	審議
内容	<p>件 名 ( 1 ) 結核健診実施状況について</p> <p>案件概要 ・令和元年度結核精密検査受診状況の報告</p> <p>・令和 2 年度結核健診実施状況、精密検査対象者の報告</p> <p>主な意見 ・令和元年度結核精密検査の受診率が 100%であった。今年度も 100%を維持してほしい。</p> <p>件 名 ( 2 ) 結核健診における要検討者について</p> <p>案件概要 ・結核の家族歴がある児童生徒 6 名について、精密検査の要否を検討</p> <p>結 果 ・6 名全員精密検査は不要。</p>		

(5) 福井市学校給食運営委員会（保健給食課）

委員数	14人	会議開催数	3回
年月日	令和2年7月21日	種別	審議・報告
内 容	件 名	(1) 学校給食の実施について	
	案件概要	・令和2年度学校給食の実施、運営体制についての報告	
	主な意見	・配膳室の湿気対策を行ってほしい。	
	件 名	(2) 新学校給食センターの整備手法について	
案件概要	・福井市新学校給食センターの整備手法についての報告		
主な意見	・PFIの経済面だけでなく、子どもたちにとってのメリットを考えてほしい。 ・長期契約におけるチェック機能が不安である。		
年月日	令和2年11月16日	種別	審議・報告
内 容	件 名	(1) コロナ禍における学校給食の実施状況について	
	案件概要	・令和2年度学校給食におけるコロナ対策事業等の報告	
	主な意見	・特になし	
	件 名	(2) 新型コロナウイルス等影響対策特別委員会についての報告	
	案件概要	・新型コロナウイルス等影響対策特別委員会での新学校給食センター整備運営事業の概要に係る質疑応答の報告	
	主な意見	・子どもや保護者たちにとってのメリットを考えてほしい。	
件 名	(3) 福井市新学校給食センター整備運営事業実施方針等の公表について		
案件概要	・実施方針の内容等についての説明		
主な意見	・地元こだわらず、ノウハウをたくさんもっている事業者を希望する。		
年月日	令和3年3月25日	種別	報告
内 容	件 名	福井市新学校給食センター整備運営事業について	
	案件概要	・福井市新学校給食センター整備運営事業の進捗状況の報告	
	主な意見	・老朽化した配膳室を改修してほしい。	

(6) 福井市新学校給食センターPFI等選定委員会(保健給食課)

委員数	7人	会議開催数	2回
年月日	令和2年11月12日	種別	審議
内 容	件名	(1) 福井市新学校給食センターについて	
	案件概要	・新学校給食センター整備運営事業の概要等の説明	
	主な意見	・建設地周辺は田であり、営農に対する影響を含めておいたほうが、環境を守っていくという意味では大事ではないか。	
	件名	(2) 選定委員会の運営、スケジュールについて	
	案件概要	・PFI事業(事業者選定等)の主な流れ、スケジュールについて説明	
	主な意見	・あわら市や坂井市の給食センターの管理栄養士と連携し取り組んでいくほうがスムーズに進むものとする。	
	件名	(3) 実施方針(案)について	
	案件概要	・実施方針(案)の内容についての説明	
	主な意見	・PFIの仕組みに期待する要素や項目を提示いただきたい。	
	件名	(4) 要求水準書(素案)について	
案件概要	・要求水準書(素案)の内容について説明		
主な意見	・新センターの整備によって不要となるパートの方などは、優先的に雇用してあげることではないのか。 ・福井市の給食センターとして、これが特徴という点をはっきりと出てくるとよい。		
年月日	令和3年2月4日	種別	審議
内 容	件名	(1) 実施方針等に関する質問への回答及び意見について	
	案件概要	・実施方針等に関する質問への回答及び意見についての報告	
	主な意見	・供用開始前の物価変動リスクは事業者側となっているが、臨機応変に対応していくような幅を持たせた解釈があってもよいのではないか。	
	件名	(2) 特定事業の選定について	
	案件概要	・特定事業の選定(案)についての説明	
	主な意見	・財政負担見込額の縮減値が少ないのではないかと。 ・リスクを分担すると安定した事業運営が可能になるのか。	
	件名	(3) 審査の手続きについて	
	案件概要	・落札候補者選定に係る審査方法の審議	
	主な意見	・除算方式は、今回は似合わないと思われる。加算方式しかないのではないかと。 ・価格点30%の配点について、本事業の性質上、7:3は非常にわかりやすいのではないかと。 ・得点化方法について、後から専門の委員に伺いながら、ということができればよいと思っており、合議方式がよい。	
	件名	(4) 落札者決定基準について	
	案件概要	・落札者決定基準(案)の審議	
	主な意見	・「大規模災害時への対応」及び「配送及び回収業務計画」は配点が2点であるが、非常に重要と考える。	
	件名	(5) 今後のスケジュールについて	
	案件概要	・今後の選定スケジュールの説明	
	主な意見	・プレゼンテーションとヒアリングの時間配分について、事前の提案書提出もあり企業であればプレゼンテーションは20分でしっかりまとめることもできる。ヒアリングの時間を増やしたほうが丁寧に審査を行えるのではないかと。	

(7) 社会教育委員の会議(生涯学習課)

委員数	16人	会議開催数	2回
年月日	令和2年7月17日	種別	審議
内容	件名	改正民法施行後の成人式の在り方について	
	案件概要	・対象年齢は20歳のまま、成人式を「はたちのつどい」へと名称を変更 主な意見 ・開催時期を検討してほしい。 ・18歳に成年年齢が引き下げられることでどういふことが変わるのか対象者への教育、情報提供などの対応を考えてほしい。	
年月日	令和3年3月26日	種別	審議
内容	件名	不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会常任委員の推薦について	
	案件概要	・事務局より常任委員の推薦	
	結果	・承認	

(8) 福井市少年愛護センター運営委員会(青少年課)

委員数	15人	会議開催数	2回
年月日	令和2年7月31日	種別	審議
内容	件名	(1) 委員長・副委員長の選任について	
	案件概要	・「福井市少年愛護センター設置条施行規則第3条第1項」の規定により、委員長及び副委員長を互選によって定める。	
	結果	・委員長に巢守光委員、副委員長に綿谷浩一委員を選任	
	件名	(2) 市愛護センターの概要・事業内容について	
	案件概要	・令和元年度事業報告、令和2年度事業計画(案)、補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の状況について審議	
	結果	・承認	
	件名	(3) 各関係機関・団体の取組について	
案件概要	・情報(意見)交換		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業などにより家庭のネット環境整備が進んでいるが、ネット依存に関して、親の目が届かなくなっている。家庭内でのルールづくりが大事だと思う。</li> <li>・補導活動しているが、声をかけにくいことがある。規則はあっても、罰則がないなどのため、保護者の価値観次第になってきた。</li> <li>・少年補導について、特に深夜徘徊の件数は増えている。</li> <li>・愛のひと声、情報モラル教室は継続してほしい。</li> <li>・「ヤングテレホン」のしおりは、中学1年生だけではなく、2、3年生にも配布してほしい。</li> </ul>		
年月日	令和2年12月22日	種別	審議
内容	件名	福井市少年愛護センターの委嘱補導員の見直しについて	
	案件概要	・教員の働き方改革への対応として、教員への委嘱の代わりに、警察職員、教員又は少年愛護センター補導員としての経験を有する者を会計年度任用職員として任用する。	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「交通安全」という意味において、学校の役割は「交通ルールを教え、指導すること」であると考えている。警察の役割は「パトロール」や「事故対応」、行政の役割は「信号や道路などの施設整備」、そして、地域や保護者は「直接的な見守り」などによって交通安全が図られている。非行に関しても、学校は校内でしっかり指導しているが、放課後の指導や非行対応は警察に受け持ってもらいたいとこ</li> </ul>		

	<p>る。放課後の見守りの負担が減る今回の提案は、教員として、大変ありがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝は、PTA、夕方は見守り隊や各地区にいる市民会議の推進員が時間をずらして活動すれば、人は足りると思う。</li> <li>・新たに任用する会計年度職員は、男女、偏らないようにお願いしたい。補導される側は、男子も女子もいるので、男女ペアで回れるようになるとうい。</li> </ul>
--	--

(9) 福井市青少年問題協議会(青少年課)

委員数	12人	会議開催数	1回
年月日	令和2年8月24日	種別	協議
内 容	件名	(1) 会長・副会長の選任について	
	案件概要	・「福井市青少年問題協議会規則第3条第1項」の規定により、会長及び副会長を互選によって定める。	
	結果	・会長に田村洋子委員、副会長に福本敏巳委員を選任	
	件名	(2) 新たな生活様式への対応と子どもたちの環境変化について	
	案件概要	・コロナ禍での子どもたちの様子、各関係機関・団体の取組に対する意見交換	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察の統計では、「声かけ事案」「不良行為」は昨年同時期(7月末現在)より減少している。一方、「児童虐待」「少年非行」は増加している。県警では、少年サポートセンターがあり、虐待対策係を設けた。</li> <li>・学校が再開し、規則正しい生活が始まると、疲れている子どももいた。学校行事の中止や縮小については、子どもなりに納得したり、あきらめたりしているようだ。</li> <li>・学校休業明けは、朝、旗持ちしていても「おはよう」という子どもたちの声が返ってこなくなった。新しい様式に慣れず、朝のスタートが難しいのではないかと。眠そうな子がいる。</li> <li>・高校生については、比較のおとなしく、頑張っているのではないかと印象である。学校休業の3か月でわかった問題としては、学力が二極化したということである。学校以外で学習習慣のない子は、全く学力が伸びていない。個別のケアが必要。AOSSA6階の自習室開放は助かっている。</li> <li>・いじめ、非行、虐待については、子どもを認めてあげることが大事だと思う。</li> <li>・学校、家庭、地域が子どもたちを育てることに意識を高めていくことは重要だが、子どもたちの心を育むには時間がかかることにも気をつけなければならない。</li> <li>・コロナ禍で、全体の事業がストップしてしまっているが、以前から取り組んでいたことや、きまりを守るなどの当たり前の価値観が育まれるようにしないといけない。</li> <li>・大変なことは弱いところに現れる。非行という形になって現れるのは、タイムラグがあると考えられる。非行がクローズアップされるのは来年以降ではないか。</li> <li>・世の中の影響は、大人にもある。家庭収入が減ることで、子どもたちに影響が出ることもある。学校に来ていても、お腹をすかせていないか、精神的に不安定な親はいないか、気にかけていく必要がある。</li> </ul>		

(10) 福井市少年自然の家運営協議会（青少年課少年自然の家）

委員数	8人	会議開催数	1回
年月日	令和2年7月16日	種別	審議・報告
内 容	件 名	(1) 少年自然の家の概要・事業内容について	
	案件概要	・令和元年度事業報告、令和2年度事業計画(案)について説明	
	結 果	・承認	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の状況で主催事業の周知は難しいと思う。</li> <li>・主催事業の回数が大幅に縮減されて残念であるが、我々団体も本当に苦慮している。はたして事業を行ってよいのか、動員をお願いしてよいのか。子どもたちのことなので、万が一何かあったときの責任などを考えると難しい。</li> <li>・自粛期間中、外来の診察をしていて感じたのは、学校が休みだから体調が悪くなった子どもと、逆に体調が良かった子どもの二通りある。不登校ぎみの子どもはストレスがなくなり体調が良くなっている。</li> <li>・学校では、やるべきかどうか判断を迫られる場面がたくさんある。教育委員会からの通知等を基に行っているが、さらに、今からやろうとしていることが子どもたちの教育上、リスクを負ってまでやる必要があるかどうかというところが、大きな判断基準となっている。</li> <li>・「コロナ」という言葉ひとつで自粛してしまうことは問題であると考えている。また、仮に感染してしまった場合、その後の人権にかかわる教育や、「ウィズコロナ」の中でどれだけ活動ができるかを模索している。</li> </ul>	
	件 名	(2) 報告	
案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の要請による軽症患者の受入について</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について</li> <li>・少年自然の家の条例、規則の全部改正について</li> <li>・少年自然の家の指定管理者の募集について</li> </ul>		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「報告事項」について、事務局より説明</li> <li>・コロナ禍で（要求基準の年間利用者数）12,000人を上回ることはなかなか大変だと思う。</li> <li>・最近の子どもたちは、和式のトイレが使えないと聞く。指定管理者に代わるに当たり、トイレの洋式化やシャワーの設置を検討してほしい。</li> </ul>		

(11) 福井市スポーツ推進審議会（スポーツ課）

委員数	14人	会議開催数	1回
年月日	令和3年1月26日	種別	報告
内 容	件 名	福井市スポーツ推進計画【改訂版】について	
	案件概要	・福井市スポーツ推進計画【改訂版】の成果指標の進捗報告等	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技団体は、新型コロナウイルス感染症対策のため、工夫しながら大会を開催していることを理解してほしい。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大による、施設の使用可否や条件について教えてほしい。</li> </ul>	



(12) 福井市文化奨励賞選考委員会（文化振興課）

委員数	7人	会議開催数	1回
年月日	令和2年9月30日	種別	選考
内容	件名 福井市文化奨励賞選考委員会 案件概要 ・文化、芸術等の分野において、優れた実績をあげた個人又は団体で福井市文化奨励賞の受賞の対象となるものの選定のための審査		

(13) 福井市文化財保護委員会（文化財保護課）

委員数	10人	会議開催数	1回
年月日	令和3年2月12日	種別	審議・報告
内容	件名 (1) 大安寺観音堂（旧松平斉承御霊屋）の市指定について（審議） 案件概要 ・大安寺観音堂の市指定文化財への指定について、福井市教育委員会からの諮問に対し、審議を行った。		
	主な意見 ・福井藩第14代藩主の霊屋としての品格があり、移築後の保存状態も良く、市指定の価値がある。		
	件名 (2) 報告 ・「越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観」の重要文化的景観選定について ・令和2年度文化財建造物修理事業について ・令和2年度新指定・登録有形文化財について ・令和2年度埋蔵文化財発掘調査について ・福井市文化財保存活用地域計画の策定について		
	案件概要 ・5件の報告事項について説明 主な意見 ・景観だけでなく歴史を調べてそれを観光に役立ててほしい。 ・発掘調査で百間堀の跡が出てきたときは、何か明示するような形で残してほしい。また、駅前に福井城跡の案内がないため、ビジュアルなものにしてほしい。 ・笏谷石の確保を考えてほしい。 ・地域計画を作成しようとするときは地方文化財保護審議会の意見を聞かなければならないとされているので、それに基づいてやってほしい。		

(14) 福井市自然史博物館運営協議会（自然史博物館）

委員数	10人	会議開催数	2回
年月日	令和2年7月29日	種別	審議
内容	件名	(1) 自然史博物館の運営について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業報告 (令和元年度の利用状況、企画展や自然史講座の開催状況、収蔵資料の状況、研究報告や博物館だより等の発行、広報等の活動のほか、決算状況について)</li> <li>・令和2年度事業経過報告 (コロナ禍における講座等事業の中止や延期等の対応とこれまでの実施状況、新たな取組みの「#エア博物館」「#おうちでミュージアム」と今後の対応、予定について)</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部資金獲得は館の運営、学術的面からもレベルを保つための重要な事項であるから、トライを続けていただきたい。</li> <li>・「#エア博物館」について、動画配信等良い機会ととらえ、進めていただきたい。</li> </ul>	
	件名	(2) セーレンプラネット(分館)の運営について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業報告(利用状況、特別展、企画展等展示業務、ドーム映像業務、自主事業等の実施状況、子どもを対象とした学習投映、幼児投映の実施状況、広報活動状況のほか、収支決算状況について報告)</li> <li>・令和2年度事業経過報告(コロナ禍における事業の中止や延期等の対応とこれまでの実施状況、今後の対応と予定)</li> </ul>	
	主な意見	・特になし	
内容	件名	(3) その他	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本館、分館それぞれの新型コロナウイルス感染症感染防止策について報告</li> <li>・令和2年度福井市文化奨励賞受賞候補者について、推薦を依頼</li> <li>・県の事業「福井 de お泊まりキャンペーン」を利用して福井市で宿泊された方に「ふくミュースパス1日フリー券」を、国の事業「GO TO キャンペーン」を利用して福井市で宿泊された方に「福井市ぐるっと観光無料クーポン」を進呈する市の対応を説明</li> <li>・分館の第2期指定管理者選定について、これまでの経過と今後のスケジュールについて報告</li> </ul>	
	主な意見	・特になし	
	年月日	令和3年3月4日	種別
内容	件名	(1) 自然史博物館について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業(事業実施状況や新たな取組、コロナ対策等)経過の報告</li> <li>・令和3年度事業計画(企画展や講座等の行事予定と、予算案)の説明</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究発表会はいろいろな人に知ってもらいたい。宣伝して多くの方に来てもらいたい。</li> </ul>	
	件名	(2) 自然史博物館分館について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業経過及び第1期指定管理期間の5年間の総括の報告</li> <li>・第2期指定管理者として、令和3年度実施予定の事業の説明</li> </ul>	
内容	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民衛星「すいせん」の展示が県の中心部、高校生の多い駅付近でできることは良い話なので、進めてほしい。</li> <li>・高校生の展示室利用料金無料は良い。</li> </ul>	
	件名	(3) その他	

	案件概要	・ドームシアターでの東京オリンピック 2020 パブリックビューイングの2021年への延期を報告
	主な意見	・特になし

(15) 福井市美術館運営協議会（美術館）

委員数	8人	会議開催数	2回
年月日	令和2年10月29日	種別	審議
内 容	件 名	美術館の前期運営について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度前期事業報告 (前期に企画されていた3つの企画展が新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったが、その空いた期間に収蔵品展を前期・後期に分けて開催。アトリエ事業は、8月末から徐々に活動を再開)</li> <li>・令和2年度後期事業計画(企画展、アトリエ事業の開催)の説明</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画配信などのデジタルを活用し、そこから作品をみたい、体験したいと思わせるような流れができればよい。</li> <li>・できるだけ感染予防に努めながら、企画展やアトリエ活動が開催できるようにして欲しい。</li> </ul>	
年月日	令和3年3月25日	種別	審議
内 容	件 名	美術館の後期運営について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度後期事業報告 (2月から開催しているミニチュアライフ展が、大変人気となっている。アトリエ事業は、前期に中止となった活動も開催し、約1万人が参加)</li> <li>令和3年度前期事業計画 (新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、4つの企画展やアトリエ事業を開催予定)</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニチュアライフ展は、SNSの拡散によって、来場者が増加したので、他の展覧会でもできるだけSNSを活用し、広報して欲しい。</li> <li>・家でもできるアトリエ活動の動画を配信して欲しい。</li> </ul>	

## (16) 福井市立郷土歴史博物館運営協議会(郷土歴史博物館)

委員数	8人	会議開催数	2回
年月日	令和2年8月6日	種別	審議
内容	件名	(1) 令和元年度寄贈・寄託資料について	
	案件概要	・寄贈資料22件、寄託資料112件の内容説明	
	主な意見	・特になし	
	件名	(2) 令和2年度の事業について	
	案件概要	・展示、教育普及事業の実績報告	
	主な意見	・子どもたちの博物館利用、学校や地域との連携などの促進について意見交換	
年月日	令和3年2月4日	種別	審議
内容	件名	(1) 令和2年度下半期の事業について	
	案件概要	・令和2年度下半期の展示、教育普及事業の実績報告	
	主な意見	・特になし	
	件名	(2) 令和3年度の事業について	
	案件概要	・令和3年度の展示、教育普及事業の計画報告	
	主な意見	・コロナ禍での動画による情報発信について、ICTなどの活用を利点としてより多くの人々が気軽に接することができるよう工夫してほしい。	

## (17) 福井市図書館協議会(図書館・みどり図書館・桜木図書館)

委員数	9人	会議開催数	2回
年月日	令和2年8月20日	種別	協議・報告
内容	件名	(1) 新型コロナウイルス感染症への対応について	
	案件概要	・感染症対策として実施済み及び実施予定の取組内容の説明	
	主な意見	・特になし	
	件名	(2) 令和2年度図書館の利用状況について	
	案件概要	・7月末までの貸出冊数、入館者数等の図書館利用実績の報告	
	主な意見	・コロナ対策をしながら、福井市の各図書館が工夫を凝らしながらできるだけのことを行っている。移動図書館も多くの人々が利用できるようになり、職員がそれぞれの立場で一生懸命頑張っていると感じている。 ・図書館を何十年も利用しているが、これまで電話やインターネットで本を予約したことが無かったが、やってみると良かった。	
	件名	(3) 令和2年度図書館の行事について	
	案件概要	・8月までに各図書館で実施した行事及び今後実施予定の行事の報告	
	主な意見	・市立図書館が実施した「心ゆさぶる1冊」は、紙に書くのではなく、シールを貼って投票する方法なので、投票しなくなった。 ・「心ゆさぶる1冊」は、岩波少年文庫に投票するものだが、大人の本でも企画すると良い。このような企画があると、こういう本があるのかと読んでみたくなる。	
	件名	(4) こども司書くらぶの取組について	
案件概要	・令和元年に、「福井市こどもの本大賞」の創設にあわせて結成された「こども司書くらぶ」の取組内容を説明		
	主な意見	特になし	
年月日	令和3年3月22日	種別	協議・報告
内容	件名	(1) 令和2年度図書館の利用状況について	
	案件概要	・2月末までの貸出冊数、入館者数等の図書館利用実績の報告	

主な意見	・特になし
件名	(2) 令和2年度図書館の行事報告について
案件概要	・今年度実施した行事の報告
主な意見	・特になし
件名	(3) 令和3年度予算(案)について
案件概要	・令和3年度の図書館関係の予算案の説明
主な意見	・特になし
件名	(4) 市立図書館リニューアル事業について
案件概要	・令和2年度に進めてきた基本設計の進捗状況と図書館、地域交流センターそれぞれの整備基本方針の説明
主な意見	・改修面に中心が置かれているが、市立図書館が本来担うべき中央館の機能を充実していかなければならない。例えば、郷土資料を系統的に収集するのは市立図書館であり、文書館を造ることは無理だと思うが、その機能を充実させてほしい。
件名	(5) 令和3年度図書館の行事予定について
案件概要	・令和3年度に実施を予定している行事の報告
主な意見	・特になし
件名	(6) 清水図書館・美山図書館の休館日及び開館時間の変更について
案件概要	・利用者の利便性向上のため、美山、清水図書館の休館日及び開館時間を他館と同じ程度にする変更を行うことについて説明
主な意見	特になし
件名	(7) 令和3年度特別開館について
案件概要	・市民の利便性と利用拡大を図るため、定められた休館日に特別開館する日について報告
主な意見	・特になし

- 備考 -

- ・担当所属は、令和3年3月31日現在のものを記載しています。

## 5 令和2年度 教育に関する事務の管理及び執行状況

ここでは、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について実施した点検及び評価を掲載します。  
方針9及び10は市長部局が所管する取組ですが、教育振興基本計画の進捗管理も兼ねるため、参考として掲載しています。

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	1 未来につなぐ特色ある学校づくりの推進
	(1) 特色ある学校づくり
具体的な取組	(2) 家庭・地域・学校協議会の設置と活用
	(3) 教育ウィークの推進
	(4) 地域活動への子どもたちの積極的な参加の推進
	(5) 福井の学校のあり方についての検討

成果指標に関して  
(総)...第七次福井市総合計画成果指標  
(基)...教育振興基本計画成果指標

### 取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標 R3
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	特色ある学 校づくり	学校 教育課	<p>子どもたちの未来を切り拓く力を養い、教育実践の質を高めていくために以下のような視点から、一覧表をもとに、これからの地域との取組を吟味・精選しました。</p> <p>地域と関わる取組一覧表を発信し、目指す子どもの姿を家庭や地域と共有しながら連携を深め、地域とともにある学校づくりを一層進めていく。</p> <p>地域と関わる取組一覧表を有効に活用しながら、教育の目的や目標の実現に向けた教育活動から、教科等横断的な視点で組み立てていく。</p>	設定なし	-	-	-	-	-	-
(2)	家庭・地 域・学校協 議会の開催	学校 教育課	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、直接会議を開くことができないこともありましたが、書面にてやりとりしたり、学校から委員のところに訪問したりして、委員に意見をいただくしながら教育活動を進めるようにしました。今年度の状況に合わせて子どもが考えた新しい取組に対して意見をもらいながら進めている学校もありました。</p>	設定なし	-	-	-	-	-	-

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標
					目標	H29 全小中学校 （1週間）	H30 全小中学校 （1週間）	R1 全小中学校 （1週間）	R2 全小中学校 （1週間）	R3 全小中学校 （1週間）	
(3)	教育開催 ウィーク開催	学校教育課	今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、全小中学校で共通して行う「教育ウィーク」は開催できませんでしたが、各学校の状況に合わせて、場所や人数を分けて公開したり、学校からのお便りやHP、動画等で発信する機会を増やしたりする等の工夫をして、教育活動を地域に公開しました。	(基)教育ウィークの開催学校数 基準値(H27):全小中学校(1週間)	100%	100%	100%	0%	-	-	
(4)	地域活動への子どもたちの積極的な参加の推進	学校教育課	今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、地域で行われる行事や学校で地域の方と一緒に行う活動を行うことが難しい状況でした。しかし、人数を調整したり手紙や動画、作品のやりとりなどに代える等して、今年度なりに、地域とのつながりが途切れないように取り組みました。	設定なし	-	-	-	-	-	-	
(5)	福井の学校の方についての検討	学校教育課	令和2年5月に福井市学校規模適正化検討委員会からの答申を受け、適正化の対象となった地区の代表者を対象に、全地区で答申説明会を開催しました。また、各地区において保護者や地区住民を対象とした意見交換会を開催してまいります。今後とも丁寧に保護者や地域の意見を聞いてまいります。	設定なし	-	-	-	-	-	-	

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	2 学力充実のための教育活動
具体的な取組	(1) 福井市学力・学習状況調査研究委員会の設置
	(2) 積極的な授業公開と研究会の実施
	(3) 読書活動の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標	
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	全国学力・学習状況調査研究会の開催	学校教育課	<p>本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国学力・学習状況調査は実施されませんでした。そのため、全国学力・学習状況調査研究会の開催はできませんでした。</p> <p>他校(園を含む)への授業公開や出前授業の実践では、新型コロナウイルス感染症対策のため、実施が難しい状況でした。指導主事訪問も例年2回行っていました。今年度は1回の実施となり、中学校区内での授業参観も感染症対策のため実施できませんでした。</p>	設定なし	-	-	-	-	-	-	-
(2)	授業公開の実施  研究会の実施	学校教育課  学校教育課	<p>各中学校区では、新型コロナウイルス感染症対策のため児童生徒の交流はほとんど実施できませんでした。教職員の研究会・研修会は、オンライン会議システム等を活用して、できる範囲で何ができるかを積極的に協議しました。</p>	他校(園を含む)への授業公開や出前授業の実践(園を含む)への授業公開や出前授業の実践(全小中学校1校当たり回数)	5回	5回	6回	6回	6回	-	-
(3)	学校司書の配置	学校教育課	<p>全小中学校に学校司書を配置し、読書の環境づくりや児童生徒の読書推進に努め、学校図書館の一層の充実を図りました。また、学校司書を対象にした研修を定期的に行い、スキルアップを図りました。</p>	中学校区単位での研究会・研修会(全小中学校1校当たり回数)	3回	3回	12回	12回	12回	-	-
				達成度	100%	400%	100%	125%	125%	-	-
				目標	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
				実績	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-	-
				達成度	100%	100%	100%	100%	100%	-	-



(3)	学校図書整備 備事業	学校教育課	文部科学省が定める「学校図書館図書標準」の蔵書冊数に達するよう、図書の整備を行いました。小、中学校ともに市全体としては、学校図書館図書標準が100%を達成しました。今後は、変動する学級数に応じて、継続的・計画的に整備を行い、基準冊数の維持に努めます。	小中学校の学校図書 館図書標準	目標	小学校 100% 中学校 88.0%	小学校 100% 中学校 97.0%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	-
					実績	小学校 100% 中学校 93.4%	小学校 100% 中学校 98.7%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	-
					達成度	106.1%	101.7%	100%	100%	-

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	3 豊かな心の教育の推進
	(1) 道徳教育の推進
	(2) 人権教育の推進
	(3) 道徳的実践の場としての体験活動の充実
	(4) 芸術・文化体験の充実
具体的な取組	(5) 環境教育の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目 設定なし	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標 R3
					目標	H29	H30	R1	R2	
(1)	道徳教育の推進	学校教育課	小学校では道徳教科化3年目、中学校では2年目となり、学校訪問でも道徳の研究授業を行う学校が多くあり、適切な助言等で道徳授業に対する意識が高めることができました。また、4つの小学校が「親子で学ぶ道徳講座」を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。	設定なし	-	-	-	-	-	-
(2)	人権教育の推進	学校教育課	いじめや差別のない学校にするために、各学校に対し年度初めに人権教育推進計画の作成を依頼し、正しい人権感覚を身に付け、思いやりの心を持つて行動できる児童生徒を育てる人権教育を計画的に取り組むよう呼びかけることができました。	設定なし	-	-	-	-	-	-
(3)	道徳的実践の場としての体験活動の充実	学校教育課	各学校で、人や自然とふれあいがいながら豊かな心を育てる場として、集団宿泊体験学習や田植え、稲刈り等の自然体験活動を実施しました。子どもたちが体験活動を通して、仲間や地域の方々と交流する場面が見られました。	設定なし	-	-	-	-	-	-
(4)	芸術・文化体験の充実	学校教育課	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国際交流作品展は中止としました。令和3年度は、開催する予定で準備をしており、作品を通しての国際交流を行っていきます。	(基)国際交流作品展の開催日数 基準値(H27):7日間	7日間	7日間	7日間	7日間	7日間	7日間
					目標	100%	100%	100%	0%	0%

(5)	環境教育の 推進	学校教育 教育課	<p>全幼小中学校で「ESD（持続可能な開発のための教育）」の視点を組み入れた「福井市環境学習プログラム」に取り組みました。各学校では、年度始めに向けて作成した「実施計画」に基づいて、目標達成に向けて取組内容を見直しながら実践を進めました。訪問した学校では、授業、清掃、委員会、部活等の様々な場面で子どもが環境学習に取り組む姿が見られました。年度末には各学校が取組を「実施報告書」にまとめました。</p> <p>来年度も引き続き、各学校において環境学習に取り組む、持続可能な社会の創り手として考え行動できる子どもの育成につなげます。</p>	(基)福井市環境学習 プログラムの取組学 校数 基準値(H27)：全幼 小中学校	目標	実績	達成度
					全幼小中学校	全幼小中学校	100%
					全幼小中学校	全幼小中学校	100%
					全幼小中学校	全幼小中学校	100%
					全幼小中学校	全幼小中学校	100%
					全幼小中学校	全幼小中学校	100%

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	4 幼児教育の推進
	(1) 小学校との連携の強化 (2) 保護者への支援 (3) わくわく交流デーの充実 (4) 交流活動の推進 (5) 認定こども園への移行の推進
具体的な取組	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標		
					目標	H29	H30	R1	R2			
(1)	小学校との 連携の強化	学校 教育課	<p>継続推進計画による連携交流の3回のうちの1回を、校区の園小関係職員が集まっている小学校と、学校教育課をオンラインでつなぎ、コロナ禍の中であっても、園小の円滑な接続という目的のための取組について研修する機会を設け、目的を共有して取り組むことができました。</p> <p>コロナ禍の1年間を経て、取組可能なことについて見通しをもてるようになってきたため、次年度は、年度始めから計画的に取り組むことができるようにしていきます。</p>	(基)保幼小接続カリキュラムの実施校数 基準値(H27): 全小 学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	R3 全小学校	
(2)	保護者への支 援	学校 教育課	園での子ども様子を、ミニお便りやブログ等でタイムリーに伝えるように心がけ、子ども成長を実感しお子さんを安心して園に預けていただくことができしました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-	-	-
(3)	わくわく交 流デーの充 実	学校 教育課	新型コロナウイルス感染症対策のため、市内一斉に行う新1年生の小学校1日体験「わくわく交流デー」は中止としました。しかし、新1年生の小学校への円滑な接続のための取組を各小学校区の園と小学校が協議し、全小学校区で新1年生を迎える取組を行うことができました。	(基)わくわく交流デーの開催数 基準値(H27): 全小 学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
					実績	大雪のため中止	全小学校	全小学校	全小学校	感染症対策のため中止	-	-
					達成度	0%	100%	100%	100%	0%	100%	0%

(4)	交流活動の 推進	学校 教育課	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、公立こども園と公立幼稚園が合同で行う「交流保育」、複数の公立幼稚園で行う「なかよし交流保育」の両方を実施することができました。交流当日の経験が、その後の各園での遊びにもつながることで、普段の遊びもより充実しました。令和3年度に開園する公立幼稚園は2園と一層減少するため、交流の形を検討しながら、交流活動を充実させていきます。	(基)夏と秋の交流保育の開催数 基準値(H27):夏秋とも延べ3回	目標	夏秋とも延べ3回	夏秋とも延べ3回	夏秋とも延べ3回	年間を通して3回	夏秋とも延べ3回
					実績	夏秋とも延べ3回	年間を通して6回	年間を通して3回	-	
(5)	認定こども園への移行の推進	学校 教育課	平成28年度から、同地区にある公立幼稚園と公立保育園を統合して認定こども園への移行を進めてきており、令和2年度は、美山啓明幼稚園とみやま保育園が統合してこども園となり、市内の公立認定こども園が8園となりました。 元公立幼稚園の職員が公立認定こども園に異動し、元保育園職員と協働して保育園と幼稚園の両方の機能をもつ認定こども園としてのよりよい教育・保育の実現に努めています。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	
					達成度	100%	100%	33%	-	

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	5 特別支援教育の推進
	(1) 就学相談の充実
	(2) 個に応じた支援体制の充実
	(3) 一貫性のある支援体制の整備
	(4) 特別支援教育に関する研修の実施
具体的な取組	(4) 特別支援教育に関する研修の実施
	(5) 交流活動の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標						
					H29	H30	R1	R2	R3							
(1)	就学相談の充実	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策のため、就学相談会、既就学相談会は中止しました。全ての調査・相談は個別に対応しました。また、就学判断を協議する教育支援委員会を2グループに分け、計11回開催しました。	(基)教育支援委員会の開催数 基準値(H27): 年7回	目標 年8回	実績 年8回	達成度 100%	目標 年8回	実績 年8回	達成度 100%	目標 年7回	実績 年7回	達成度 -			
(2)	いきいきサポーター配置事業	学校教育課	いきいきサポーターを85名配置し、通常学級で特別な支援を必要とする子どもたちへの支援の充実を図りました。	(総)(基)いきいきサポーターの配置数 基準値(H27): 年69人	目標 78人	実績 83人	達成度 106.4%	目標 84人	実績 84人	達成度 101.2%	目標 84人	実績 85人	達成度 101.2%	目標 80人	実績 -	達成度 -
(3)	一貫性のある支援体制の整備	学校教育課	特別支援教育コーディネーターを、全小中学校に配置しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、特別支援教育コーディネーター会は中止しましたが、各園、各小中学校に資料を送付し移行支援について依頼しました。また、特別支援教育専門委員会を開催し、特別支援教育コーディネーター会の今後の在り方について検討しました。	特別支援教育コーディネーターの配置	目標 全小中学校	実績 全小中学校	達成度 100%	目標 全小中学校	実績 全小中学校	達成度 100%	目標 全小中学校	実績 全小中学校	達成度 100%	目標 -	実績 -	達成度 -
(4)	特別支援教育に関する研修の実施	学校教育課	新型コロナウイルス感染症の影響で研修会は中止しましたが、各校に資料を配付し、特別支援教育コーディネーターの役割や外部機関との連携等について周知しました。	設定なし	目標 -	実績 -	達成度 -	目標 -	実績 -	達成度 -	目標 -	実績 -	達成度 -	目標 -	実績 -	達成度 -

(5)	交流活動の 推進	学校 教育課	特別支援学級と通常学級の児童生徒の交流及び 共同学習は、特別支援学級を設置している62校全 てで実施しています。	設定なし	目標	-	-	-	-	
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

教育支援委員会 障がい等のある児童生徒に対して、就学先の決定だけでなく、早期から一貫した支援を行う機関（教育委員会に設置）  
いさいきサポーター 発達障がいなどの傾向があり、集団での活動が苦手な児童生徒に対して、学習支援や生活指導、学校生活に関わる諸問題の指導支援を行う非常勤職員  
特別支援教育コーディネーター 特別支援教育を進める上で、学校において、保護者や関係機関に対する窓口、保護者を含めた学校内外の関係者や福祉、医療、特別支援学校等の関係機関  
との連携・協力のための調整、校内委員会の推進などの役割を担う教員  
福井市特別支援教育専門委員会 特別支援教育の充実を図るため、教育、医療、福祉、行政の各分野から委員を選出し、特別支援教育体制づくりを検討する組織

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	6 気になる児童生徒への支援の充実
	(1) いじめの未然防止の支援
具体的な取組	(2) スクールソーシャルワーカーの配置
	(3) 不登校児童生徒への支援
	(4) 学校不適応対策事業推進会議の開催

取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	いじめの未然防止の支援	学校教育課	学校と教育委員会との間で報告・連絡・相談を確実に、気になる児童生徒に関する情報を共有し対応を協議するとともに、必要に応じて関係機関と連携した支援を行いました。また「福井市いじめ防止基本方針」を保護者や地域にも周知するたため、学校HP等への掲載を呼びかけ、いじめの未然防止に向けた取組を行いました。	設定なし	-	-	-	-	-	-
(2)	スクールソーシャルワーカーの配置	学校教育課	学校からの申請に応じて、スクールソーシャルワーカーを派遣しました。学校だけでは対応が困難な事例等に対して、家庭環境等の調査をもとに関係機関との調整や連携を図りながら、本人や家族との生活環境の改善、支援を行ってきましました。また、毎月1回定例会を開き、情報共有や各事例に対してお互いアドバイスを行いました。	設定なし	-	-	-	-	-	-
(3)	不登校児童生徒への支援	学校教育課	小学校カウンセラーについては、県のスクールカウンセラーの配置も加味して、各小学校の児童数に応じて派遣しました。福井市適応指導教室「チャレンジ教室」にも週1回以上派遣し、通室生の相談にあたりました。また、チャレンジ教室における保護者対象の親の会を年1回実施しました。	(基)スクールカウンセラーが配置されている学校数 (県のSCの配置で十分な小学校に重点的にカウンセラーを配置) 基準値(H27)：全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
				達成度	100%	100%	100%	100%	100%	-



(4)	学校不適応対策事業推進会議の開催	学校	学校不適応対策推進会議を年3回オンラインで実施しました。会議では、福井市適応指導教室「チャレンジ教室」の取組や、学校不適応児童生徒の理解や対応について議論しました。特に、今年度はオンラインでのライフパートナー活動についての仕組みを話し合い、運用を開始しました。	設定なし	目標	-	-	-	-
	学校不適応対策事業推進会議の開催	教育課			実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

スクールソーシャルワーカー 子どもを取り巻く環境に働きかけて、子どもが自分だけでは解決できない様々な問題の解決の支援や関係機関との連携を図る、社会福祉士などの資格を有する者。

小学校カウンセラー スクールカウンセラーは、児童生徒の臨床心理に関する専門的な知識を有する者が、学校のカウンセラー機能を充実に目指して、いじめや不登校など児童生徒の問題行動等の対応にあたる。そのうち本市は16人のカウンセラーを41小学校とチャレンジ教室に派遣し、小学校カウンセラーと呼んでいる。

チャレンジ教室 長期欠席をしている不登校の小中学生を対象に、福井市教育委員会が平成2年度から設置している施設。個に応じた活動を進めながら、児童生徒が学校に復帰できるように支援している。

学校不適応対策事業推進会議 適応指導教室「チャレンジ教室」の活動全般に関する支援や、新たな学校不適応児童生徒を出さないようにするための支援について協議する組織。

ライフパートナー 福井市と福井大学の連携事業の一環で、教育相談の授業を受けている大学生が、保護者からの要請を受けて学校不適応児童生徒の学校や家庭等を訪問し、相談相手として接することで児童生徒の自立を側面的に支援する。

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	7 グローバル化に対応した英語教育の推進
	(1) A L Tによる授業の充実
	(2) 中学生英語合宿（英語サマーキャンプ）の支援
具体的な取組	(3) F C Aによる国際理解教育の充実

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	英語活動推進事業	学校教育課	小学校専属ALTを市内全小学校の3～6年の全学級に派遣し、学級担任や教科担任を支援しました。 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、5月31日まで臨時休業措置がとられたことにより、目標訪問回数を達成することができませんでした。	(総)ALTの間派遣回数(1学級当たり) 基準値(H27):5・6年 24回、3・4年 9回	目標	24回	24回	5・6年 24回 3・4年 4回	5・6年 24回 3・4年 9回	5・6年 24回 3・4年 9回	R3
(2)	中学生英語合宿（英語サマーキャンプ）の支援	学校教育課	令和2年度から中学生英語合宿（英語サマーキャンプ）を英語セミナーとして宿泊を伴わない活動にしました。東京オリンピック開催のため、新規ALTの入国が遅れることとなり、十分な数のALTを確保できないことから1日開催として計画を進めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。	中学生英語合宿（英語サマーキャンプ）の支援回数 (R2年度より中学生英語セミナーの支援回数)	目標	2日	2日	2日	1日	1日	1日
(3)	F C Aによる国際理解教育の充実	学校教育課	平成29年度までは、おもてなし観光推進課国際室に所属するF C Aが小学校を訪問することがありましたが、平成30年度からF C A4名のうち2名が学校教育課所属の小学校専属ALTとなり、F C Aとしての小学校訪問はなくなりました。 学校教育課を通して、公立幼稚園にF C Aの訪問事業の案内を送付し、園からの訪問希望調査を集約し、おもてなし観光推進課国際室に送っています。	F C Aの派遣回数 (1学級当たり)	目標	5回以上	-	-	-	-	-
					実績	5回以上	-	-	-	-	-
					達成度	100%	100%	100%	90%	0%	-

A L T Assistant Language Teacher の略。小中学校や高等学校で外国語を指導する日本人教師を支援するための外国人講師。

中学生英語合宿（英語サマーキャンプ） 市内の中学3年生が外国人英語講師と生活をともにすることにより、外国文化を理解し、視野を広め、英語に親しみながら友情を育てる体験活動。福井市中学英語研究会の主催により、少年自然の家で実施した。

F C A Fukui International Cultural Ambassador（福井市国際文化交流大使）の略。アメリカの姉妹友好都市出身で、小学3、4年生に対し、外国の文化に関する授業を行った。

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	8 教育の情報化の推進
	(1) 無線LANを活用できるネットワーク環境の整備
	(2) グループウェアの活用
具体的な取組	(3) ICTを活用した授業の実施

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標	
					H29	H30	R1	R2	R3			
(1)	無線LANを活用できるネットワーク環境の整備	学校教育課	1人1台の端末を用い、児童生徒が授業でインターネットを活用できるように、ネットワークの高速大容量化を進めるとともに、全普通教室に無線LANのアクセスポイントを整備しました。	普通教室における無線ネットワーク環境の整備	-	中学校全普通教室接続	-	小学校全普通教室	-	-	R3	
(2)	グループウェアの活用	学校教育課	ICTを活用した業務改善に向けて、諸帳簿を効率よく作成するシステムを教員が開発し、使用の方の研修会を分散して小学校教員対象に実施しました。 本市が導入している教育ネットワークとグループウェアは、業務になくはならないものになつていきます。今後、集合型の研修だけでなく、OJTをさらに進め、一層の効率化につなげていきます。	グループウェアを活用した事務効率化のための研修	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	-	-	
(3)	ICTを活用した授業の実施	学校教育課	本年度から実施の新学習指導要領に盛り込まれた小学校プログラミングの授業は、教育委員会の配布したカリキュラムをもとに、全ての小学5年生に授業を行いました。その中で、全小中学校がタブレットを活用した授業を公開しました。また、すべての中学校において、学校公開期間にICTを活用した授業を公開しました。	(基)ICT機器を活用した授業の実施学校数 基準値(H27): 全小中学校	100%	100%	100%	68%	100%	-	-	
					全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
					100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
					目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績
					100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

グループウェア 組織内のコンピュータネットワークを活用した、情報共有のためのソフトウェア。

OJT On the Job Trainingの略。職場の上司や先輩が、部下や後輩に対して、実際の仕事を通じて指導し、知識、技術などを身に着させさせる教育方法のこと。

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	9 教員の資質向上の推進
	(1) 教員研修の充実
具体的な取組	(2) 福井大学教職大学院との連携

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	教職員課題別研修の受講	学校教育課	教職員力量向上研修 中の学校教育課主催の研修として、校務別研修・目的別研修を夏季休業中を中心に27の講座を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、全ての目的別研修を中止しました。校長・教頭対象の校務別研修は集合型で実施しました。今後も、更なる充実に努めます。	(基)教職員課題別研修 (R2年度より教職員力量向上研修)の受講率(研修受講者/全教職員)	100%	100%	100%	100%	100%	100%
(2)	福井大学教職大学院との連携	学校教育課	福井大学連合教職大学院へ派遣する教員に対して、入学時及び在学中に要する経費を補助することで教員の進学を促し、教職大学院との連携を深めていきます。この取り組みにより令和2年度は1年履修コースに3名の派遣が決定しました。	基準値(H27): 100% 設定なし	-	-	-	-	-	-
				達成度	100%	117%	100%	25%	-	-
				目標	-	-	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-	-	-
				達成度	-	-	-	-	-	-

教職員力量向上研修 本市の教職員一人ひとりが自己の資質・能力の向上のために自主的に計画し参加する研修市教委主催のみならず、県教委や研究所の研修等も含む。市教委主催の研修としては、「目的別研修」「校務別研修」等、教職員員の力量向上に必要な研修を設定する。

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	10	キャリア教育の推進
		(1) 地域の特色を生かしたキャリア教育 (2) 地域や企業と学校が連携した取組

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標	
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	地域の特色を生かしたキャリア教育	学校教育課	<p>福井市キャリア教育プログラムの活用は、9月以降、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら実施しましたが、数値目標を達成することはできませんでした。</p> <p>小学校の社会見学や職場見学も、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施する学校は少なくないかわりに、各所で福井市キャリア教育プログラムの活用すること、社会的・職業的自立につながる資質・能力・態度を育みました。</p>	<p>(総) (基) 福井市キャリア教育プログラムの活用学級（小2、小5、中1）の割合</p> <p>基準値 (H27)：策定中</p>	目標	50%	70%	100%	100%	100%	100%
					実績	58.2%	84.0%	98.8%	79.5%	-	-
					達成度	117.6%	120%	98.8%	79.5%	-	-
(2)	地域や企業と学校が連携した取組	学校教育課	<p>福井市キャリア教育連絡協議会を開催し、市内経済団体やキャリア教育コーディネーターと連携してキャリア教育を推進しました。「福井市キャリア教育プログラム実施基準」を作成し、学校や企業等はこの基準にしたがって感染症対策を行い、プログラムを実施しました。今年度の福井市キャリア教育プログラムの中には、オンラインを活用したプログラムもあり、話だけでなく活動もうまく取り入れながら実施しました。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-	-

福井市キャリア教育プログラム 学校の教科の学習内容と地域の企業の人づくり・ものづくりの技術を結び付けた教育プログラムで、企業の社員等を地域の教育支援者として学校に招き、教員と一緒に授業を行う。

福井市キャリア教育連絡協議会 市内経済団体（福井商工会議所青年部、福井青年会議所、ふくいの担い手づくりプロジェクト）、認定資格を有するキャリア教育コーディネーター、小中学校長、しごと支援課、女性活躍促進課と教育委員会が連携し、児童生徒のキャリア教育を支援するための組織

方針	2	ふるさと福井への誇りや愛着が持てる環境の充実を図る
施策の方向性	1	ふるさと教育の推進
		(1) 副読本「ふるさと福井の人々」の活用
具体的な取組		(2) 郷土の偉人への理解と生徒自らの将来を考える教育の推進
		(3) 福井の魅力を感じて活動の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標
					目標	H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	副読本「ふるさと福井の人々」の活用	学校教育課	毎年、全小学5年生に配付しており、小学5・6年生では社会科を中心とした授業や調べ学習、読書等で活用しています。歴史上の人物が多く掲載されているため、5年生よりも6年生で活用する割合が高くなっています。今後、子どもたちが福井の偉人の生き方を学ぶことを通じて、ふるさと福井への誇りをもてるように、活用を推進していきます。	(基)副読本「ふるさと福井の人々」の活用率 基準値(H27): 100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
(2)	郷土の偉人への理解と生徒自らの将来を考える教育の推進	学校教育課	毎年、中学2年生が立志式を行い、橋本左内の生き方や功績に理解を深め、各自将来の決意や目標を明らかにしていきます。今年度は、コロナウイルス感染症対策を行い、8割以上の学校が実施しました。	設定なし	-	-	-	-	-	-	-
(3)	福井の魅力を体感する活動の推進	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策のため、中止された地域行事も多く、参加する機会が大幅に減少しました。しかし、市内の教育施設の活用については、3密を避けてバスの台数を増やして移動したり、活動内容を工夫したりするなど感染症対策をして実施することができました。	設定なし	-	-	-	-	-	-	-

方針	2	ふるさと福井への誇りや愛着が持てる環境の充実を図る
施策の方向性	2	福井の魅力を学び、発信できる環境づくり
具体的な取組	(1)	郷土学習事業の推進
	(2)	世代間交流事業の推進
	(3)	社会教育団体の育成
	(4)	学習情報の提供

取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	「福井学」 学習セン ター事業	生涯 学習課	中央公民館において基礎講座と歴史講座を受け開催。新型コロナウイルス感染症の影響を受け開催規模を縮小したため、目標の参加者数を達成することはできませんでしたが、福井の歴史、生活文化、まちづくり等、幅広いテーマで講座を実施することことができました。今後も、事業を通して地域を見つめなおす機会を創出し、郷土の魅力発信できる人材育成に取り組めます。	(総)福井学講座参加者数 基準値(H27)：454人	480人	490人	510人	540人	600人		
					484人	503人	512人	438人	-		
				達成度	100.8%	102.7%	100.4%	81.1%	-		
				目標	10,000人	10,000人	10,050人	設定なし	10,400人		
				実績	9,785人	10,035人	10,093人	3,863人	-		
				達成度	97.9%	100.4%	100.4%	-	-		
(2)	伝統文化継 承事業	生涯 学習課	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人気のある郷土料理づくりなどの事業が行いにくい状況でしたが、各館で工夫しながら実施することができました。今後も感染症対策を行いながら事業を実施していきます。	(基)郷土学習参加者数 基準値(H27)：9,400人 伝統文化継承事業 事業数 (～H29「はつらつ 伝承塾」促進事業実 施数(公民館及び地 区団体))	24事業	14事業	19事業	20事業	-		
				目標	24事業	18事業	19事業	20事業	-		
				実績	24事業	18事業	19事業	20事業	-		
				達成度	100.0%	128.6%	100.0%	100.0%	-		

(2)	人材活用派遣事業	生涯学習課	新型コロナウイルスの影響を受け、派遣を見送るケースが出たため、派遣回数には減少が見込まない状況となっています。今後の持続的な発展を見据え、平成31年4月に策定した「ふくい領北連携中核都市圏ビジョン」(以下、「ビジョン」という。)では、社会教育講師派遣事業の登録者数を増やすことを新たな目標として定めており、具体的な取組として、圏域内での広域的な講師の派遣や受け入れの調整を行いました。その結果、ビジョンにおける成果指標である社会教育講師派遣事業の登録者数について、令和5年度の目標(130人)を前倒して達成しました。	(基)高齢者人材活用派遣回数 基準値(H27): 82回	目標	83回	83回	設定なし	設定なし	87回			
					実績	81回	69回	43回	-	-			
					達成度	97.6%	83.1%	-	-	-			
(3)	社会教育団体の育成	生涯学習課	地区公民館を中心に自治会、PTA、体育振興会、壮年会、婦人会、社会福祉、地域づくりなど、多様な社会教育活動、住民活動を支援していき、今後も継続的に実施してまいります。	設定なし	目標	-	-	-	-	-			
					実績	-	-	-	-	-			
					達成度	-	-	-	-	-			
(4)	学習情報の提供	生涯学習課	公民館に関する各種情報をより多くの地域住民に周知するため、各公民館において公民館だよりを発行するほか、ホームページやSNS等の広報媒体を積極的に活用してまいります。	設定なし	目標	-	-	-	-	-			
					実績	-	-	-	-	-			
					達成度	-	-	-	-	-			



方針	3	食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する
施策の方向性	1	学校給食の充実と食育の推進
	(1)	食育の推進
	(2)	地場産食材の活用
具体的な取組	(3)	給食施設・設備の整備

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標	
					目標	H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	食育の推進	保健給食課	各学校ごとに、1年間の「食」に関する指導の全体計画を作成し、関連教科や総合の時間等で食育に取り組みました。栄養教諭・学校栄養職員は、その計画に沿い、児童生徒に対し「食の指導」を令和2年度は、合計で839回行いました。内容としては、「朝食」、「食事のマナー」、「栄養素の働き」など年代に応じた指導を行っています。また、給食だよりやFacebookにて食育や学校給食の情報発信し、家庭への周知も行いました。	(基)食育学習会や体験活動等を実施している学校の割合 基準値(H27): 100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
(2)	地場産食材の活用	保健給食課	納入業者や市園芸センターなど関係機関と調整をし、地場産食材を計画的に取り入れられました。また、福井の地場産食材や郷土料理を多く取り入れた「ふるさと給食」や「朝食ゆめまるランチ」を実施するとともに、共立女子大学と連携して福井の食材を使った新しい献立を取り入れるなど、子どもたちが喜ぶ楽しい給食づくりを行いました。	(基)市内産農産物の使用品目数の維持 基準値(H27): 20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上
(3)	給食施設・設備の整備	保健給食課	給食施設の老朽化や学校衛生管理基準、食物アレルギーへの対応に向け、新学校給食センターの整備事業を進めています。令和2年度は、実施方針・要求水準書の作成等を行いました。また、単独調理校については、学校の大規模改修等に合わせ、ドライシステムへの改修に取り組みでいきます。現在は、ドライ運用で学校給食の衛生管理の徹底に努めています。	(基)給食施設のドライ化数(累計) 基準値(H27): 4施設	5施設	5施設	5施設	5施設	5施設	5施設	5施設	8施設
					80%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-

方針	3	食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する
施策の方向性	2	自らが行動できる安全教育の推進
具体的な取組	(1)	安全教育の推進
	(2)	児童生徒や教職員の防災・防犯訓練の充実

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標	
					達成度	H29	H30	R1	R2		R3
(1)	安全教育の推進	保健 給食課	各学校において「学校安全年間計画」を策定し、それに基づいて、安全教育や避難訓練を実施しました。 各学校では、児童生徒が安全確保のための適切な行動を自分で考え判断できるよう、授業中だけでなく、休み時間や登下校時など、大人が近くに取り組まない場面での災害を想定した訓練等、工夫し取り組ましました。また、災害発生時にとるべき行動について確認や話し合いを行いました。	評価項目 設定なし	目標	-	-	-	-	-	-
(2)	児童生徒や教職員の防災・防犯訓練の充実	保健 給食課	児童生徒や教職員が、突発的な場面において迅速かつ的確に対応できるように、全小中学校で防災や防犯の訓練を実施しています。 令和2年度においても、全小中学校で避難訓練を実施し、沿岸部の学校では、津波被害を想定した訓練も行いました。また、防災アドバイザーや消防署、警察、気象庁等の関係機関と連携を図り、より実践的な訓練になるよう努めました。	(総)(基)小中学校における避難訓練の実施率 基準値(H27)：100%	目標	100%	100%	100%	100%	100%	100%
					実績	100%	100%	100%	100%	100%	-
					達成度	100%	100%	100%	100%	100%	-

方針	3	食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する
施策の方向性	3	心身ともに健やかに育つ学校保健の充実
具体的な取組	(1)	健康教育の充実
	(2)	学校、家庭、関係機関などの連携強化

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標	
					目標	H29	H30	R1	R2		
(1)	健康教育の充実	保健給食課	<p>定期健康診断及び就学時健康診断の結果を分析し、課題改善につなげるため、日々の保健指導や学校保健委員会 の開催を通して、児童生徒の生活習慣や健康に対する意識の改革に努めました。目と歯の健康に関しては、養護教諭と学級担任等が協力し、ビジョントレーニングを実施したり、小学1、2年生を対象にリーフレットを用いた指導を行いました。</p>	(基)学校保健委員会 の開催  基準値(H27)：全小 中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	R3
(2)	学校、家庭、関係機関などの連携強化	保健給食課	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、学校、家庭、学校三師（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）、保健所等の関係機関と連携を図りました。</p> <p>保健所や学校三師、福井市学校保健会等と連携しながら本市独自の「学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定し、感染予防に努めました。また、家庭における日々の健康観察やマスクの適切な着用、手洗い、換気等基本的な感染症対策についても、学校を通じて保護者に依頼しました。</p>	設定なし	100%	100%	100%	100%	100%	-	-
	学校保健委員会		<p>学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織。校長、養護教諭、栄養教諭などの教職員や学校医、学校歯科医、保護者代表、地域の保健関係機関の代表から構成されている。</p>		-	-	-	-	-	-	-

方針	3	心身ともに健やかに育つ学校保健の充実
施策の方向性	4	生き生きと運動に取り組み学校体育の充実
具体的な取組		(1) 児童生徒の体力維持向上
		(2) 体育指導の充実
		(3) 運動部活動の充実

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標
					目標	H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	児童生徒の体力維持向上	保健 給食課	全小中学校が「児童生徒体力づくり推進計画書」を作成し、教育活動全般を通して、運動に取り組みました。 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施学年や種目を限定するなど、可能な範囲内での取組を依頼しました。令和元年度における本市の実態や傾向、課題などを参考資料として示し、それらと比較したり、各学校の過去の記録とも照らし合わせたりしながら、強化が必要な種目について、対策を講じるよう指導しました。	(基) 体育の授業を除いた休み時間等で年間を通して運動に取り組んでいる小学校の割合 基準値(H27)：46%	62%	66%	68%	68%	68%	80%	
(2)	体育指導の充実	保健 給食課	指導主事学校訪問の機会を利用し、文部科学省の方針や考えについて、伝達と指導を行いました。また、コロナ禍における体育授業の進め方等についても、資料を配付して全小中学校に周知しました。 児童生徒に対しては、アスリートやスポーツクラブの専門指導員による体育授業を行いました。また、実際に児童生徒への指導を見ることが、教員が専門的な指導法を学ぶこともできました。	設定なし	-	-	-	-	-	-	
(3)	運動部活動の充実	保健 給食課	地域の指導者を令和2年度は、15校で41名活用しました。専門的な技術指導を行い、様々な部が秋季地区大会ならびに県大会で入賞することができました。 また、トップアスリートによる実技講習会として陸上教室も予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、やむをえず中止しました。	(基) 学校からの希望に対する運動部活動地域連携推進事業指導者の委嘱率 基準値(H27)：92%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
					103.2%	100.0%	91.2%	73.5%			-
					達成度	100%	100%	100%	100%	100%	-
					達成度	100%	100%	100%	100%	100%	-

方針	4	自然科学への興味を高め、子どもの夢を育てる
施策の方向性	1	自然科学教育の推進
		(1) 展示の充実
具体的な取組		(2) 自然史博物館再整備の検討
		(3) 自然科学分野のキャリア教育と学習講座の充実
		(4) 宇宙や天体に関する興味・関心の向上

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標
					目標	H29	H30	R1	R2	
(1)	展示の充実	自然史博物館	<p>事業の主な取組内容と成果・課題</p> <p>自然史博物館は、新型コロナウイルス感染症対策として、4月4日から5月10日までを臨時休業とし、5月中の自然史講座等も中止としました。その後も感染リスクが高いと思われる講座等は中止や延期とし、そのほか参加人数を制限したり、事前予約制にしたりするなどの対応を行いました。さらに学校の夏休みが短縮されたことも影響し、入場者は大きく減少しました。</p> <p>セーレンプラネットについても、新型コロナウイルス感染症対策として、4月4日から5月22日まで臨時休業とし、ドームシアターについては5月いっぱい休止しました。6月からは入場者と放映回数を制限して再開しました。また、土日祝日に行っていた展示案内やワークショップを6月まで中止し、移動観望会については、福井駅西口恐竜広場から公民館での開催に変更しました。その他のイベント等も参加者を制限して行うなどした結果、入場者は大きく減少しました。</p> <p>自然史博物館及びセーレンプラネットとも引き続き感染症対策を行いながら、企画展やイベント等を実施するほか、学校や公民館等への出前講座等を実施し自然科学教育の普及に努めます。</p>	(基)自然史博物館企画 入場者数	目標 21,000人	27,000人	27,000人	27,000人	設定なし	22,000人
				基準値(H27): 14,750人	実績 25,281人	27,421人	22,050人	10,327人	-	-
				達成度	120.4%	101.6%	81.7%	-	-	-
				(総)自然史博物館とセーレンプラネットの年間総入場者数	目標 153,000人	153,000人	154,000人	154,000人	154,000人	130,000人
				基準値(H27): 19,325人(自然史博物館のみ)	実績 115,617人	133,097人	114,611人	62,300人	-	-
				達成度	75.6%	87.0%	74.4%	40.5%	-	-
				(基)自然史講座等参加者数	目標 5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人
				基準値(H27): 4,511人	実績 3,239人	3,688人	3,333人	1,415人	-	-
				達成度	64.8%	73.8%	66.7%	28.3%	-	-
				設定なし	目標 -	-	-	-	-	-
				実績 -	-	-	-	-	-	-
				達成度	-	-	-	-	-	-
(2)	自然史博物館再整備の検討	自然史博物館	<p>財政健全化計画により延期</p>							

(3)	自然科学分野のキャリア教育と学習講座の実	自然史博物館	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。	産学連携科学技術キャリア教育事業参加者数	目標	100人	110人	125人	設定なし	-
					実績	108人	120人	19人	中止	-
					達成度	108.0%	109.1%	15.2%	-	-
(4)	宇宙や天体に関する興味・関心の向上	学校教育課	セーレンプラネットが実施している幼小中学校向けの博物館学習では、学校に合わせた学習プログラムとなるよう助言し、プログラムの活用を各学校に周知しました。今後も子どもたちの宇宙や天体に関する興味・関心を高めるための学習に取り組んでいきます。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

方針	5	安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む
施策の方向性	1	安全で快適な学校施設の整備
	(1) 学校施設の老朽化対策	
	(2) 安全性の確保・向上	
具体的な取組	(3) 快適な環境づくり	

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	小学校大規模改修事業/ 学校体育館大規模改修事業/学校生活環境整備事業	教育総務課	社北小学校南校舎の施設の老朽化に対応するため、大規模改修を実施しました。また、森田小学校の教室不足の解消を図るため、仮設校舎の建設を実施しました。  拠点避難所である小学校体育館の安全性を確保するため、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り落下防止対策を講じました。 令和3年度に8校の工事を実施することで、対象校51校の整備が完了する予定です。	(基)校舎や体育館の大規模改修及びプールや校庭の改修を今後新たに実施する学校数  基準値(H27): 0校	3校	5校	6校	8校	11校	R3	
(2)	窓ガラス飛散防止対策事業	教育総務課		(総)(基)小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策の実施率  基準値(H27): 17%	43.1%	56.9%	74.5%	84.3%	100%	100%	-
(3)	音楽室エアコン設置	教育総務課	平成29年度にて事業完了	(基)小中学校全ての音楽室へのエアコン設置率  基準値(H27): 47%	小学校37校	-	-	-	-	100%	100%
	トイレ洋式化改修工事	教育総務課	子どもたちが安心して学び、快適に生活できる環境を提供するため、生活様式に応じたトイレの洋式化改修を行いました。 国の交付金制度活用により、工事対象校を追加した結果、最終年度目標値を前倒しで達成し、すべての小中学校においてトイレの洋式化率が50%以上となりました。	(基)学校トイレの洋式化率  基準値(H27): 37%	40.7%	44.7%	46.5%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
					41.8%	45.4%	47.9%	52.0%	-	-	-
					102.7%	101.6%	103.0%	104.0%	-	-	-





方針	6	家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る
施策の方向性	1	地域で進める青少年の健全育成
具体的な取組	(1)	地域との連携
	(2)	青少年の非行防止と被害防止対策
	(3)	姉妹友好都市との交流
	(4)	放課後の子どもが安全に過ごせる居場所の確保

取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標		
					目標	H29	H30	R1	R2			
(1)	地域との連携	青少年課	見守り活動や危険箇所点検、大人と子どもとの交流会など、青少年育成福井市民会議の48支部が実施している活動を支援しました。 また、子どもたちへの声かけ事業が発生しやすいため、夕方作業しながら地域で子どもたちの安全を守る「夕方見守り運動」を推進し、見守り活動の強化を図りました。 職員及び委嘱補導員で、「愛のひと声」を中心とした街頭補導活動を実施しました。コロナ禍で、委嘱補導員の活動は、一時自粛を余儀なくされましたが、その間、職員がくまなく巡回パトロールを実施しました。 また、市教育委員会と福井警察署及び福井南警察署で交わった不審者情報に関する連携協定に基づき会議を開催しました。今後、顔の見える関係を構築し、迅速かつ適切に情報共有を図ります。	(基)地域の大人と子どもとの交流活動の実施地区(支部)数 基準値(H27):48支部	48支部	48支部	48支部	48支部	48支部	48支部	R3	
(2)	青少年の非行防止と被害防止対策	青少年課		設定なし	目標	-	-	-	-	-	-	-
(3)	姉妹友好都市との交流	青少年課	福井市と熊本市及び結城市の子どもたちが、相互訪問を通じ、互いの都市の歴史や文化を学びあい、両市の友好関係を深めています。 なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、熊本市とオンラインによる交流会を実施しました。（結城市との交流会は中止）	設定なし	目標	-	-	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-	-	-
					達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-



方針	6	家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る
施策の方向性	2	家庭で進める青少年の健全育成
具体的な取組	(1)	家族のふれあいの推進
	(2)	規範意識の啓発

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標	
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	家族のふれあいの推進	青少年課	<p>家族みんなの心がふれあう明るい家庭づくりを推進するため、「絵手紙コンクール」を実施しています。</p> <p>令和2年度は3,463点の応募があり、優秀作品展示を4会場（ハピリン、中央郵便局、ベル、県ふるさと文学館）で実施しました。</p> <p>令和3年度は、作品展示会場をさらに増やし、家族のふれあいやコミュニケーション大切さを呼びかけていきます。</p>	<p>(基)「家族ふれあい」絵手紙コンクール優秀作品展示会の開催数</p> <p>基準値(H27)：3回</p>	目標	3回	3回	4回	4回	5回	R3
(2)	規範意識の啓発	青少年課	<p>ネット被害やいじめ、ネット依存等の危険性が危惧されていることから、学校等に対し、「情報モラル講習会」の開催を呼びかけました。この結果、全小中学校で情報モラル講習会を開催することができました。</p> <p>インターネット利用に関する指導は、家庭が果たす役割も大きいことから、保護者を対象とした講習会の開催に努め、インターネット適正利用にかかる啓発活動を一層推進します。</p>	小中学生等の情報モラル講習会の開催	目標	100%	100%	全小中学校	全小中学校	-	-
					実績	3回	3回	4回	4回	-	-
					達成度	100%	100%	100%	100%	-	-
					目標	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-	-
					実績	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-	-
					達成度	100%	100%	100%	100%	-	-

方針	6	家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る
施策の方向性	3	自然を生かした体験学習
具体的な取組	(1)	少年自然の家の利用促進
	(2)	少年自然の家の整備

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	少年自然の家の利用促進	青少年課	令和2年度は4月5日～6月30日までの間、県の要請により、新型コロナウイルス感染症患者等の一時療養施設として使用され、通常開所は7月1日からとなりました。 市内小学校の多くが、例年、実施している宿泊学習を中止したことや、各種団体が活動を自粛したことから、利用者が大きく減少しました。 令和3年度より、指定管理者制度を導入しますが、引き続き、感染防止策を徹底し、安心して利用できる施設運営がなされるよう指導していきま	(総)少年自然の家利用者数(年間) 基準値(H27): 11,129人	目標 10,500人	実績 11,300人	113.6%	11,400人	11,400人	11,300人
(2)	少年自然の家の整備	青少年課	耐震工事については、平成29年度までにすべての施設で完了しました。 令和2年度は、外壁改修工事及び自動火災報知設備補修工事を行いました。 施設が老朽化していることから、今後、比較的大規模な修繕や故障の発生が危惧されますが、整備の時期を逸することなく、適切に対応していき	設定なし	目標 -	実績 -	103.7%	-	-	-

方針	7 公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	1 公民館を活用した多様な学習機会の提供 (1) 公民館事業の充実 (2) 公民館運営審議会の充実 (3) 家庭教育事業の推進 (4) 青年教育事業の推進 (5) 地域の課題解決や現代的課題に向けた学習の充実 (6) 人材育成及び指導体制の充実 (7) 公民館によるコーディネートとしての地域活動支援 (8) 学校、家庭、地域の連携強化
具体的な取組	

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標 R3
					目標	H29	H30	R1	R2	実績	
(1)	公民館事業の充実	生涯学習課	<p>事業の主な取組内容と成果・課題</p> <p>公民館では地域の特色を活かし、多様な学習ニーズや地域課題の解決を重視した各種教育事業、自主グループ支援を実施するとともに、地域のコーディネートとして、人と人、人と地域を結ぶため、連絡調整を中心に多様な地域活動の支援に努めています。</p> <p>教育事業全般について、前期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、長期間、事業の実施ができませんでした。後期は感染症対策を行いながら、概ね実施することができました。次年度も感染症対策を行いながら事業を実施していきます。</p>	(基)公民館利用者数 基準値(H27): 917,000人	目標	920,000人	920,000人	設定なし	設定なし	設定なし	920,000人
				(基)公民館学級・講座及び自主グループ数 基準値(H27): 1,470グループ	実績	1,480グループ	1,490グループ	設定なし	設定なし	設定なし	1,470グループ
					達成度	96.7%	97.5%	-	-	-	-
					達成度	100.5%	100.1%	-	-	-	-
(2)	公民館運営審議会の充実	生涯学習課	すべての公民館に公民館運営審議会を設置するとともに、柔軟な委員構成に努め、公民館運営に市民の多様な意見を反映させました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-	-

(3)	家庭教育事業の推進	生涯学習課	親子の成長や学びを支えるため、親などを対象とした「家庭教育事業」を実施しています。新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、計画どおり事業の実施ができな公民館もあり、事業内容やオンライン会議システムの活用など、事業内感染対策策を行ないながら、地域全体で親子の成長や学びを支える学習機会の提供に努めます。	(基)親学講座開催実施数 基準値(H27):36回	目標 実績 達成度	38回 34回 89.5%	設定なし 12回 -	設定なし 11回 -	設定なし 8回 -	40回 - -
(4)	青年教育事業	生涯学習課	青年教育事業を通し、地域活動への参加意欲を高めるとともに、新たな担い手の育成に努め、地域コミュニティの活性化を図っています。しかし、新型コロナウイルス感染症や大雪の影響により、参加者数は目標の7割程度に留まりました。今後も継続して地域と青年が関わる場を作り、地域の新たな担い手の発掘・育成に努めます。	青年教育事業参加者数 (~H30 青年グループ数)	目標	38グループ	38グループ	4,700人	5,000人	-
	実績				37グループ	34グループ	4,856人	3,687人	-	
	達成度				97.4%	89%	103%	73.7%	-	
(5)	地域の課題解決や現代的課題に向けた学習の充実	生涯学習課	福井市連合青年団の組織体制の充実を図り、青年や青年グループ等を対象として青年交流事業の開催を支援しています。コロナ禍でもオンラインで打合せ会議を実施し、目標を達成することが出来たため、引き続き支援を行います。	設定なし	目標	2回	3回	3回	3回	-
	実績				3回	3回	3回	3回	-	
	達成度				150%	100%	100%	100%	-	
(6)	人材育成及び指導体制の充実	生涯学習課	公民館等を通して、少子高齢化、男女共同参画、多文化共生、情報化、環境問題、防災・防犯、地域づくりなど、現代社会や地域が抱える課題についての学習を実施しました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
	実績				-	-	-	-	-	
	達成度				-	-	-	-	-	

(7)	公民館によるコーナーとネットワークとしての地域活動支援	生涯学習課	地域コミュニティの機能保持・活性化を図るため、地域のコーナーネットワークとして地域活動の支援及び連絡調整を積極的に担い、地域コミュニティの中核的な活動拠点として、人と人、人と地域を結ぶ機能の充実に努めました。	(基)公民館各種団体 活動利用者数 基準値(H27)： 272,000人	目標	273,500人	設定なし	設定なし	設定なし	277,000人
					実績	252,999人	113,168人	291,004人	113,168人	-
					達成度	91.3%	-	-	-	-
(8)	学校、家庭、地域の連携強化	生涯学習課	P T A と連携し、学社連携事業をはじめとした地域の教育力を高めるための取り組みを支援しています。公民館事業を通じて、地域における家庭・学校・地域の連携強化を図りました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	2	だれもが利用しやすい生涯学習施設の充実
具体的な取組	(1)	公民館の整備
	(2)	公民館施設等の維持管理

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	公民館の整備	生涯学習課	施設の老朽化や狭あい度合、地区の人口形態、他施設との併設状況などの点を総合的に勘案しながら実施しました。 今後も継続的かつ計画的な整備を行っていきます。	(基)公民館施設整備方針の達成度 基準値(H27)：75%	目標 86%	実績 76.6%	86%	79.6%	86%	86%
(2)	公民館施設等の維持管理	生涯学習課	高齢者、障がい者、子育て中の家族などが利用しやすい施設としてバリアフリー化を進めるとともに、老朽化や緊急度を勘案しながら、施設や設備の補修・改修を行い、機能の充実に努めました。 今後も、継続して施設の維持管理に努めます。	設定なし	目標 -	実績 -	-	-	-	-
					達成度 89.1%	達成度 78.6%	達成度 91.4%	達成度 92.6%	達成度 95.1%	達成度 -



方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	3	市民憲章運動の推進
	(1)	市民憲章運動の推進
具体的な取組	(2)	不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会の活動への支援

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標 R3
					目標	H29	H30	R1	R2	
(1)	市民憲章運動の推進	生涯学習課	市民主体のまちづくりが推進されるよう、市民の精神的指標である「不死鳥のねがい(福井市市民憲章)」について、その運動を推進しました。今後も、市民一人ひとりがその趣旨を理解し、実践することができるよう、5つの項目、5つの実践目標の周知に努めていきます。	(基)福井市を美しくする運動参加者数 基準値(H27): 53,500人	目標	60,500人	61,000人	61,500人	設定なし	56,000人
					実績	60,833人	61,016人	38,452人	中止	-
					達成度	100.6%	100.0%	62.5%	-	-
(2)	不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会の活動への支援	生涯学習課	市内49地区に支部を設置し、公民館活動や地域活動との連携を図るなかで、地域における運動が定着するよう支援しました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	4	市民ニーズに対応した図書館サービスの提供
	(1)	多様化するニーズに対応した資料の収集、整理、保存の充実
	(2)	郷土資料等の収集と情報発信の強化
具体的な取組	(3)	レファレンスサービスの充実

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標
					目標	H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	多様化するニーズに対応した資料の収集、整理、保存の充実	図書館	市民の様々なニーズに対応して、市立図書館は郷土資料や貴重書を活用した行事、みどり図書館は子育て世代を対象とした企画、桜木図書館はまちなか施設やアオササ内各施設と連携したイベントなど、各館の特色を生かした事業を実施しました。	(総)(基)図書館利用者数 基準値(H27): 740,000人	目標 747,345人	747,345人	747,345人	742,220人	742,960人	743,700人	
(2)	郷土資料等の収集と情報発信の強化	図書館	郷土資料の積極的な収集に努め、1,600冊余りを蔵書として登録しました。 また、冊子形態の資料だけでなくマップやリーフレットなどの地域資料も収集し、利用に供しました。 特設コーナーや行事案内のほか、児童向けおすすめ図書のリストをSNSで発信しました。 レファレンスカウンターや電話・メール等での市民の要望に応じて、専門的知識を持つ司書が適切な資料の紹介や提供を行いました。 また、時節に応じた図書を集めた「特設コーナー」を設置し、課題解決に役立つ資料、情報を提供しました。	設定なし	目標 -	-	-	-	-	-	
(3)	レファレンスサービスの充実	図書館		設定なし	目標 -	-	-	-	-	-	

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	5	効果的・効率的な図書館運営と施設整備
	(1)	利用時間と運営体制の整備
	(2)	図書館施設の整備
具体的な取組	(3)	読書に親しめる環境の整備

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標
					目標	H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	利用時間と運営体制の整備	図書館	美山図書館、清水図書館の利用時間の適正化に取り組み、令和3年4月1日から休館日と開館時間を改めることとしました。 今後も、利用者アンケートでの意見や提案を参考にし、利用者ニーズに応じたサービスの提供に努めていきます。	(基)図書館を利用する市民の満足度 基準値(H27)：86.5%	目標	87.0%	88.0%	89.0%	89.2%	88.5%	
(2)	図書館施設の整備	図書館	市立図書館のリニューアルについては、令和4年度からの改修工事に向けて、設計業務に着手しました。 新型コロナウイルス感染症対策のため、全館の貸出・返却カウンターにパーテーションを設置するほか、市立・みどり・桜木の3館に図書消毒機を導入するなど、安全・安心な読書環境の確保に努めました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-	
(3)	読書に親しめる環境の整備	図書館	2台の移動図書館車を活用し、学校や児童・福祉施設への巡回貸出や訪問を行いました。 また、図書館利用者の利便性を高めるため、商業施設など6か所に図書返却ボックスを新設しました。 さらに、新型コロナウイルス感染症への対応として、郵送による図書の貸出サービスを開始しました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-	
					実績	87.8%	88.9%	89.1%	88.6%	-	
					達成度	100.9%	101.0%	100.1%	99.3%	-	
					目標	-	-	-	-	-	
					実績	-	-	-	-	-	
					達成度	-	-	-	-	-	
					目標	-	-	-	-	-	
					実績	-	-	-	-	-	
					達成度	-	-	-	-	-	

方針	8	ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する
施策の方向性	1	安全・安心で気軽に楽しめるスポーツ施設の充実
具体的な取組	(1)	体育施設の整備
	(2)	国体関連施設の整備
	(3)	学校体育館開放事業

取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標
					目標	H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	体育施設の 整備	スポー ツ課	新型コロナウイルス感染症の影響により、屋外 体育施設は4月8日から5月18日まで、屋内体育施 設は、6月1日まで閉館しました。また、各種大会 が中止になったため、利用者数を伸ばすことがで きませんでした。 施設整備に関しては、フェニックススタジアム の内野グラウンドの整備を行いました。 施設マネジメントアクションプランの中で、利 用者数が少なく、維持管理コストが過度に高いこ となどから「機能廃止」となった施設について、 地権者へ丁寧に説明を行い理解を求めていきま す。	(基)市スポーツ課が 所管する体育施設の 利用者数（延べ 人数）  基準値(H27)： 1,258,203人	目標 1,260,000 人	1,260,000 人	1,260,000 人	1,260,000 人	700,000人	1,300,000 人	
					実績 1,249,725 人	1,179,140 人	1,069,559 人	664,000人		-	
					達成度 99.2%	93.6%	84.9%	94.8%		-	
(2)	国体関連施 設の整備	スポー ツ課	平成30年度にて事業終了	設定なし	目標 -	-	-	-	-	-	
					実績 -	-	-	-	-	-	
					達成度 -	-	-	-	-	-	
(3)	学校体育館 開放事業	教育 総務課	スポーツ振興の促進を図るため、小学校及び中 学校の体育館の開放を行いました。 また、学校体育施設開放と学校施設の目的外使 用との事務一元化を図るため、学校及び学校体育 施設開放運営委員会にアンケート調査を行い、制 度の見直しについて検討を行いました。	設定なし	目標 -	-	-	-	-	-	
					実績 -	-	-	-	-	-	
					達成度 -	-	-	-	-	-	

方針	8	ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する
施策の方向性	2	福井国体開催を契機とするスポーツ活動への参加促進
		(1) 生涯スポーツの推進
		(2) 体育協会の育成と事業の充実
		(3) スポーツ推進委員協議会の育成
		(4) 市民のスポーツへの関心の向上
		(5) 障がい者スポーツの普及・推進
具体的な取組		(6) 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンペーン誘致の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	生涯スポーツの推進	スポーツ課	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、春の体操教室、ファミリーミニマラソン大会、ニュースポーツフェスタは中止しました。春の体操教室の代替事業として、自宅でも気軽に取組める健康体操の動画を作成しをYouTubeや、「やるっさFUKUI」で配信しました。</p> <p>また、市民スポーツレクリエーション大会は、感染症対策を行い例年どおり開催することができました。</p> <p>そのほか、スポーツ少年団活動に対しては「次世代を担う健全なからだところを持った青少年の育成」の実現に向けて、指導者の育成や活動の充実を図れるよう引き続き支援を行いました。</p> <p>福井市スポーツ協会の健全な運営と同協会に加盟する各団体が実施する各事業に対して支援を行い、生涯スポーツの推進を行いました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民スポーツ大会は中止しましたが、各種スポーツ大会は、競技団体と連携し、感染状況を踏まえながら開催しました。</p>	<p>(基) 週1回以上運動やスポーツをする成人の割合(「県民意識調査」福井市抽出分)</p> <p>基準値(H27): 40.90%</p>	目標	48.0%	50% 18歳以上 (市民意識調査)	設定なし	設定なし	65.0%
				実績	46.5%	54.7% 18歳以上 (市民意識調査)	未調査	未調査	-	
				達成度	96.9%	109.4%	-	-	-	
(2)	スポーツ協会の育成と事業の充実	スポーツ課		設定なし	目標	-	-	-	-	
				実績	-	-	-	-	-	
				達成度	-	-	-	-	-	

(3)	スポーツ推進委員協議会の育成	スポーツ課	福井市スポーツ推進委員相互の連絡を密にし、ライフステージに応じて楽しみながら運動やスポーツに参加できる機会が増えるよう、福井市スポーツ推進委員協議会を支援しました。 感染症の影響により、地域での推進活動が満足にできなかったことから、次年度に向けて委員研修会を重点に行いました。 また、スポーツ推進委員の活動を認知してもらえよう、活動状況や委員紹介等を公民館に掲示したりHPに掲載したりして、広く情報発信しました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-
(4)	市民のスポーツへの関心の向上	スポーツ課	平成30年度の第73回国民体育大会及び第18回国障害者スポーツ大会開催に向けて、福井市スポーツ協会加盟団体やスポーツ推進委員等との連携を強化し、大会に向けた機運を醸成しました。その結果、両大会は成功裏に終了しました。 今後、各種イベント等におけるPR活動を通して、スポーツに対する関心を維持し、さらに高めていけるよう努めていきます。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-
(5)	障がい者スポーツの普及・推進	スポーツ課	障がい者スポーツの普及拡大に向け、関係団体と連携したスポーツ機会の提供やだれもが安心してスポーツができるよう体育施設のバリアフリー化を進めるなど、障がいのある人がスポーツに参加しやすい環境づくりに取り組みます。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-
(6)	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致の推進	スポーツ課	令和3年度に延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会における事前キャンプの誘致を推進することで、市民のスポーツに対する関心をさらに高めます。合わせて、スポーツ推進を図るとともに、世界に向けて福井市の情報発信を行います。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

方針	9	市民の文化芸術活動を支援し、優れた文化芸術に触れる機会をつくる
施策の方向性	1	文化芸術活動の支援
具体的な取組	(1)	文化芸術活動への支援と市民が文化芸術に触れる機会の創出
	(2)	市民の美術創作活動への意欲向上

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	文化芸術活動への支援と市民が文化芸術に触れる機会の創出	文化振興課	市民文化祭については、新型コロナウイルス対策のため、茶会、体験コーナーなどの中止や、芸能大会における客席の間隔確保を実施して開催しましたが、参加者数が大幅に減少しました。来年度は、市民が誰でも参加できる文化芸術活動の発表と鑑賞の場をオンライン上に設ける「バーチャル文化芸術祭」を開催することで、文化芸術に親しむ場を提供し、文化芸術活動の活性化を図ります。	(基)市民文化祭参加者数 基準値(H27): 7,058人	7,100人	7,150人	7,200人	7,250人	7,300人	R3
(2)	市民の美術創作活動への意欲向上	美術館	第33回市美展ふくいは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。次年度は、感染症対策を行いながら、市美展ふくいを開催します。	(基)市美展ふくい出品点数 基準値(H27): 485点	500点	510点	520点	530点	540点	-
				達成度	97.8%	91.6%	83.8%	-	-	-
				実績	489点	467点	436点	中止	-	-
				達成度	97.8%	91.6%	83.8%	-	-	-

方針	9	市民の文化芸術活動を支援し、優れた文化芸術に触れる機会をつくる
施策の方向性	2	文化芸術の振興
	(1)	文化芸術活動の担い手の育成
	(2)	文化会館の管理運営と再整備の検討
	(3)	美術館の展示内容の充実と魅力向上
具体的な取組	(4)	美術館の展示内容の充実と魅力向上
		美術館創作体験ができる機会の提供

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標 R3
					目標	H29	H30	R1	R2	
(1)	文化芸術活動の担い手の育成	文化振興課	NPO法人福井芸術・文化フォーラムが企画・実施する事業を支援することにより、本市の文化振興を図っています。 引き続き良質な文化芸術事業を企画・実施し、より多くの市民が、身近に文化芸術に触れる機会を創出する必要があります。	(基)福井芸術・文化フォーラム開催事業参加者数 基準値(H27): 3,063人	目標 3,100人	実績 2,798人	達成度 90.3%	3,200人	3,250人	3,300人
(2)	文化会館の管理運営と再整備の検討	文化振興課	指定管理者と連携して、施設を適切に管理運営しました。 新文化会館の整備計画については、財政再建計画の進捗状況を見極めたうえで判断します。	設定なし	目標 -	実績 -	達成度 -	-	-	-
(3)	美術館の展示内容の充実と魅力向上	美術館	当初予定していた4つの企画展のうち、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3つを中止しました。2月末からの企画展は開催することが出来ましたが、次年度は、感染症対策を行いながら、企画展を開催します。	(基)美術館企画展入場者数 基準値(H27): 19,388人	目標 63,000人	実績 22,410人	達成度 35.6%	65,000人	66,000	67,000人
(4)	美術館創作体験ができる機会の提供	美術館	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アトリエ事業を4月から8月まで中止していましたが、9月以降は、当館主催のアトリエ活動を中心に開催しました。次年度は、参加人数の制限と感染症対策を行いながら開催します。	(基)美術館アトリエ参加者数 基準値(H27): 5,127人	目標 10,000人	実績 10,066人	達成度 100.6%	10,000人	10,000人	10,000人
					目標 -	実績 -	達成度 -	330.4%	101.5%	-



方針	10	郷土の歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用する
施策の方向性	1	福井が誇る歴史・文化資源の活用推進
	(1)	一乗谷朝倉氏遺跡の管理・運営と活用
具体的な取組	(2)	養浩館庭園の管理・運営と活用
	(3)	郷土歴史博物館の資料保存と活用
	(4)	構曙記念文学館や愛宕坂茶道美術館、グリフィス記念館の活用
	(5)	歴史・文化資源の情報発信

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標 R3
					H29	H30	R1	R2		
(1)	一乗谷朝倉氏遺跡の管理・運営と活用	文化振興課	遺跡内に無料Wi-Fiスポットを設置するとともに、遺跡案内板を多言語対応としました。また、復原町並には防火水槽を設置し、環境を整備しました。今後は、今年度策定した最新デジタル基本計画に基づき、当時の建物や人物の再現アプリを制作するなど、遺跡の魅力を高め、公開活用を進めます。	(基)一乗谷朝倉氏遺跡復原町並入場者数 基準値(H27): 147,692人	目標 140,000人 実績 104,135人 達成度 74.4%	140,000人 93,318人 66.7%	140,000人 131,053人 93.6%	140,000人 114,948人 82.1%	150,000人 -	
(2)	養浩館庭園の管理・運営と活用	文化振興課	庭園を適切に保存管理するため、こけら葺き屋根葺き替え工事を行いました。また、工事見学会やライトアップなど様々なイベントを行いました。また、新型コロナウイルスの影響により来園者数が減少しました。今後も養浩館庭園の特色を活かしたイベントを開催し、幅広い世代の誘客につなげていきます。	(基)養浩館庭園入園者数 基準値(H27): 75,500人	目標 73,500人 実績 61,133人 達成度 83.2%	73,750人 62,981人 85.4%	74,000人 57,311人 77.4%	74,750人 30,543人 40.90%	75,500人 -	
(3)	郷土歴史博物館の資料保存と活用	郷土歴史博物館	福井市内市外問わず寄贈・寄託の申し出のあった資料について、資料審査委員会を経て受入れを行いました。また貴重な文化遺産を未来へ伝えるため、資料の修繕や古文書の資料化を実施し、館蔵品資料の充実を図りました。	(基)郷土歴史博物館収集資料数 基準値(H27): 40,555点	目標 40,700点 実績 40,984点 達成度 100.7%	41,000点 41,048点 100.1%	41,200点 41,208点 100.0%	設定なし 41,349点 -	41,000点 -	
(3)	郷土歴史博物館の資料保存と活用	郷土歴史博物館	博物館の施設の維持管理とともに、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、臨時閉館や来館者が安全で快適に観覧できるように対策を行い、郷土の歴史を知り学ぶ場を提供することに務めました。	(基)郷土歴史博物館総入館者数 基準値(H27): 78,021人	目標 79,500人 実績 72,227人 達成度 90.9%	79,600人 84,810人 106.5%	85,000人 61,160人 72.0%	設定なし 34,525人 -	80,000人 -	

(4)	橘曙記念文学館や愛宕坂茶道美術館、グリス記念館の活用	文化振興課	<p>橘曙記念文学館で開催した特別展は、9月の入館者数が開館以来最高となるなど、非常に好評でした。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、体験講座などの多くのイベントが中止になり、3館の入館者数は減少しました。今後は感染症の状況を見ながらイベント等を開催し、入館者の増加を目指します。</p> <p>福井・勝山日本遺産活用推進協議会を通じて、日本遺産のストーリーを語るガイドの養成や説明看板の設置などに取り組みました。</p> <p>また、ふくい嶺北連携中枢都市圏内の市町と連携し、圏域内の魅力ある文化資源の発掘・情報発信するパンフレットの作成等を行いました。今後は、地元の機運を高め、魅力を広く発信していきます。</p>	<p>(基)愛宕坂茶道美術館、橘曙記念文学館、グリス記念館来館者の延べ人数</p> <p>基準値(H27)： 29,313人</p> <p>設定なし</p>	目標	37,000人	37,250人	37,500人	38,250人	39,000人
					実績	34,961人	31,984人	26,869人	15,406人	-
					達成度	94.5%	85.9%	71.7%	40.30%	-
(5)	歴史・文化資源の情報発信	文化振興課	<p>福井・勝山日本遺産活用推進協議会を通じて、日本遺産のストーリーを語るガイドの養成や説明看板の設置などに取り組みました。</p> <p>また、ふくい嶺北連携中枢都市圏内の市町と連携し、圏域内の魅力ある文化資源の発掘・情報発信するパンフレットの作成等を行いました。今後は、地元の機運を高め、魅力を広く発信していきます。</p>	<p>目標</p> <p>実績</p> <p>達成度</p>	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	
					達成度	-	-	-	-	



## 6 学識経験者の知見

「令和2年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」についての所見

福井大学教職大学院客員教授 寺岡英男

### 1. 事務の管理及び執行状況の評価と施策について

評価指標の数値化については、数値化しやすい項目中心の評価の仕方はかなり改善されてきている。ただ、前年度も指摘した「今後政策・施策の発展に資する評価の在り方をいっそう探究することが求められる」という検討課題については、今年度も引き続き残されている。この課題に取り組むには、前年度も指摘したように、「各部門の果たすべき役割・目的に即して、どのように中期的な施策が展開され、その中で本取組がどのように進められたのか、その展開を評価する」という「点検・評価報告書」の枠組み・構成の見直しまで進まなければ基本的には解決されないのではないかと思われる。

以下、2.及び3.でこの期の重要事項として位置づく取組みを取り上げ、引き続き検討課題として残されている問題とはどういうものか、そして評価の枠組み・構成の見直しの必要性について、具体的に検討してみたい。繰り返しの指摘となり、また難しい課題ではあると思うが、述べさせていただきたい。

### 2. 教育課程編成に係る取組みについての今後配慮すべき評価の枠組みについて

この事項に関しては、昨年度の所見で述べさせて頂いた。これについて、その後に示された対応状況の説明があり、それを読むと実際に取組みが行われていることが分かった。その取組みについては、以下のように説明されている。

「学習指導要領の改訂を受け、福井市では平成29年度からの5年間、「系統性のある学び」という縦の視点と「地域に根ざした学び」という横の視点の双方に焦点を当て、発達段階を意識した地域との連携を目指した学校教育方針を示し、教育実践の質を高め、子どもたちの未来を切り拓く力を養う教育活動に取り組みました。各学校において、地域資源の活用や地域と関わる取組について、各教科・領域との関連を図り、目的や付けたい力を明確にすることで、子どもたちに必要な資質・能力の育成を図ってきました。また、地域との取組を家庭や地域に発信する活動にも取り組み、家庭・地域・学校が子どもの姿を共有することで、各教科等とのつながりを意識したカリキュラム・マネジメントを進めました。

これらの取組については、毎年度、各学校で成果と課題についての振り返りを行っています。点検・評価報告書において、この振り返りや評価を掲載していくかについては、

検討していきます。」

最後にあるような各学校での振り返りや評価について、本報告書でどこまで記載するかについては難しい点もあるだろうし、またそれを抜きには語れないという問題もあるかと思われるが、その辺りの扱いについては、対応状況にあるように、今後の検討をお願いしたい。ただ、それとは別に、対応状況で書かれてある教育委員会としての取組みについては、その振り返りと併せて、この点検・評価報告書の中に盛り込んで頂きたいと思う。そうすることは、1. で述べた、政策・施策の展開の教育委員会としての点検・評価につながる事になるとと思われる。

### 3. コロナ禍での対応について

コロナ禍での学校教育や社会教育等における対応については、それが全く予期しない事態の出現ではあったが、それだけに、改めて教育の在り方の根本を捉え直す機会となった。

それは例えば学校であれば、休校を余儀なくされ、対面が減り、オンラインでの取組みが求められる中で、学校行事の見直し、縮減された授業時間の中での授業・学習の進め方、遅れていた ICT 教育の一気の加速などによって、これまで当たり前とされてきた学校での生活・学習やそれに対応する教職員の関わり方等が、根本から問い直される状況に追い込まれる事態となったと言える。そこでは、単に状況が落ち着けば日常に戻る、遅れを取り返すという受け身の後ろ向きな発想ではなく、何が必要なのかという見直しと再構成・改善を探るという Constructive(建設的)で前向きな発想が求められていると思われる。

このような重要な課題に直面し、それにどのような発想で対応すべきか。本報告書もその姿勢が問われることになる。具体的には、点検・評価の枠組みの見直しが必要だろう。しかし、本報告書では、「市教育委員会の活動状況」、「各種審議会等審議状況」、「事務の管理及び執行状況」という枠組みは残念ながら従来そのままにとどまっている。そのため、このコロナ禍での教育委員会での方針の策定と施策取組の状況はわからない。各種審議会等審議の中では、関係する取組みについてコロナ禍でどう実施したのかあるいはできなかったのかという、あくまでも個別的な記述にとどまっている。それはより具体的なレベルになる事務の管理及び執行状況での各取組の成果と課題についても同様である。

前回の所見で、コロナへの対応については、2. で指摘した問題に関連させて、学校教育の例に限定し、課題を指摘させて頂いた。令和2年度においては、学校教育にとどまらず、教育委員会の管理する社会教育等にも関わる課題であると思われる。もちろんこれらは基本的には県としての方針、取組みが基本であると思われるが、それを受けた福井市としてもその課題に対応するには、従来の枠組みにはとどまらない市としての方針の立案と施策の展開が求められると思われる。したがって、本報告書もそれを反映した構成と記述が求められることになる。時宜にかなう Constructive な枠組みの見直しを求めたい。

#### 4. 再び1.での「事務の管理及び執行状況の評価と施策について」に立ち返って

一昨年度の所見として、柳沢昌一氏は、「分かりやすい評価指標・方法への要請と複雑で長期的な政策プロセスとの間には大きなギャップがあること」、「公的組織の場合には、とりわけ説明責任という重要で根本的な問題があり、より政策・施策の発展に資する評価の在り方の探究を重ねていくことが求められる」と述べている。

1.で触れたように評価指標の数値化については改善されてきていると言えるが、例えば、「事務の管理及び執行状況の評価と施策について」で言えば、方針 具体的な取組 事業の主な取組内容と成果・課題 成果指標 目標と実績、という枠組みは実際の取組みに先立って事前に設定され、しかも複数年度にわたる、あくまでも「平時」の中で定型化された枠組みである。一概にこれ自体を否定し作り替えるということではないが、例えば2.や3.で取り上げた現行学習指導要領が求める「子どもや地域の実態に応じた教育課程編成」という新たな提起や、全く予期しないもので通常の営みを根本から覆す新型コロナへの対応という事態を前にしては、その評価では公的な組織における政策・施策の発展に資する評価にはならないことは明らかである。厳しいことではあるが、このことの自覚と探究が求められていると思われる。

#### 5. 今年度の地道な取組みについて

上記の指摘とは別に、本報告書での「各種審議会等審議状況」、「事務の管理及び執行状況」を拝見すると、コロナ禍での大変厳しい状況の中でも、地道で工夫された取組みが行われたことがわかる。関係する方々のご努力に敬意を表したい。

いくつか例を挙げれば、少年愛護センターでの教員の働き方改革への対応として教員以外への委嘱補導員の任用、青少年問題協議会でのコロナ禍での子どもたちの変化と対応の方向性の検討、市美術館で人気となったミニチュアライフ展でのSNSの活用・広報の効果、市立図書館を利用する市民の高い満足度の維持、学校教育でICTを活用する環境整備と授業への活用などがある。引き続きの工夫された取組みをお願いしたい。

## 令和2年度福井市教育委員会事務に関する点検・評価報告書についての所見

福井市 PTA 連合会 会長 後藤 正邦

「令和2年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」について、福井市 PTA 連合会（以下、「市 P 連」という。）の会長の立場から、所見を申し上げます。

なお、以下、項目の番号は、「5 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行」の方針・施策の方向性・具体的な取組（施策番号）に沿っている。

### 1-1-(2)について

令和元年度の所見において、家庭・地域・学校協議会については、開催回数や、一定の開催回数を達成した学校数・割合などを数値目標とすることは、適当ではない段階に入ったとの問題提起をさせていただいた。その指摘に対応し、成果・課題への評価を行う方向に舵を切っていただいたことに感謝する。

今年度はコロナ禍の中で家庭・地域・学校協議会の開催がなかなか困難な情勢であったと思われるが、その中でも工夫をこらしながら可能な限り協議会の趣旨に沿うような運用を目指していただいたものとする。

学校規模適正化の議論も少しずつ進む中で、地域と学校の連携の重要性に対して、家庭や地域の視点からの注目が増していくことが考えられる。この協議会が形骸化するようなことの無いよう、今後も一層実のある協議会の実施を期待したい。

### 1-1-(5)について

コロナ禍の中であるにも関わらず、学校規模適正化検討委員会の答申結果をふまえて、対象となる各地区・学校区において説明会の実施を進めていただいたことは重要な一歩であった。

この問題については市 P 連としても当事者意識を持って取り組んだが、地域住民をあげて関心をもって議論するようになるところに至るのは、なかなか難しいとの実感である。特に、小中学校の児童生徒やその保護者、あるいはこれから小中学校に進学する乳幼児の保護者など、当事者の参画については、まだまだの状況である。

市教委においては、こうした乳幼児の保護者などを含めた当事者の関心を高めるとともにその意見を広聴する機会の実施に向けて、一層の働きかけをお願いしたい。

### 1-3-(5)について

世界的に SDGs への関心が高まり、様々な取組みが進む中、コロナ禍にあっても ESD の視点を取り入れた福井市環境学習プログラムが目標通り達成されたことは、素晴らしい

いことである。

ESDの歩みを決して絶やすことの無いよう、今後も着実に実践を進めていただきたい。

#### 1-6 について

令和2年度は、休校・部活動休止・各種行事の中止や縮小など、コロナ禍の影響が最も明確にあらわれた年度であった。

その中で、児童生徒にかかる心理的負荷はいかほどかと懸念されたが、重大な問題事案の発生に至らなかったのは、教職員はもちろん、スクールソーシャルワーカーやカウンセラーの適切な対応によるところが少なくないものと拝察する。

その関係者のご尽力に心から感謝するとともに、今後も一層個別支援が充実していくことを期待する。

#### 1-8 について

小中学校の全普通教室に無線LANが完備されたことや、新学習指導要領に盛り込まれたプログラミング教育が確実に実践に移されたことなど、高く評価する。

まさにその年度においてコロナ禍が直撃し、自宅でのタブレット学習などICTを用いた授業等の実施の必要性に直面したということも、学習環境・方法の見直しにつながったものと思われる。

教室でのタブレット使用は、授業・学習方法の多様化・発展につながる。また、学校での授業を配信して行う自宅でのタブレット学習などは、不登校の児童生徒の学習機会を確保することにもつながり得る。

今後も、こうしたICTを活用した授業の研究や実践を進め、教育の可能性を広げていただきたい。そのためにも、ICTツールの活用に関するプロフェッショナルによる教員への研修やサポートなども前進すると良い。

#### 1-10 について

コロナ禍において職場体験学習などの実施が困難な中、代替的な手段を講じてキャリア教育を推進していただいたことに感謝する。

キャリア教育は、単に子どもへの教育という側面だけではなく、地域・企業がこれに関わることで市民参加型の地域づくりになるものでもある。

ただ、この連携関係は、学校側に維持していこうという意識が無ければ容易に切れてしまいかねないし、また、一度切れたその連携関係を再構築するには大変な労力が必要になる可能性がある。

学校と地域や関係団体が連携し合う福井市のキャリア教育の仕組みは、福井モデルとして全国に誇れるものであるため、今後も一層の推進に期待する。



### 3-2-(1)について

令和元年度において、交通安全教育に関する取組が見えないとの指摘をしたところであったが、これについては各学校において着実に進めていただいているものと承知している。

ただ、安全教育における重点課題の1つであり続ける事項であるだけに、交通安全教育を行った実績についても可視化できると良いということは、重ねて指摘しておきたい。

なお、令和4年7月からは福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例が施行される。この機会をとらえて、市P連や福井県PTA連合会とも連携しながら、児童生徒だけではなく保護者に対する啓発活動にも力を入れていただきたい。

### 3-4-(3)について

運動部活動の充実に関しては、市P連は令和3年度中に、中学校保護者に対する意識調査(アンケート)を行った。

こうした調査結果もふまえ、部活動が持っている良さや果たしている機能を再評価していただき、また、中体連や市P連などの関係団体との協議を重ねながら、休日部活動の地域移行などの関係課題に取り組んでいただきたい。

### 5-1-(1)について

老朽化への対応や耐震対策との観点から、学校の大規模改修事業が着実に進められていることは評価し、感謝する。

今後も本事業の対象となる学校は相当数になることが予想されるが、この事業は将来においてどこにどのような学校が置かれる必要があるかという学校規模適正化の問題にも密接に関連する問題である。

施設の安全の確保はもちろん必須であるが、学校規模適正化との関連性を常に意識しながら、利害関係者(地域住民)との対話を重視するとともに、どの学校がいつ改修される(べきな)のかという点についての検討・議論状況を今後一層可視化していただきたい。

### 9-2-(2)について

市民や小中学生の表現の場を創造するという視点から、新文化会館の整備計画については、市内を拠点にして表現活動を行っている関係団体をはじめ利害関係者などの意見を聞きながら、利用者目線で議論を進めていただきたい。

## 総括

令和2年度は、約100年ぶりの世界的パンデミックの影響が直撃した1年であった。

その影響によって多くの事業が中止に追い込まれたことについては、やむを得ない面があると思われるが、オンラインへの変更などもろもろの工夫を行いながら可能な範囲で教育事業・活動を進めていただいたことには、敬意を表する。

特に各学校での感染対策の徹底など、現場のご苦心とご労苦に対しては、感謝してもしきれない。

しかし、市P連、特に保護者の立場から（しかも事後的に）見ると、部活動の休止や体育施設・文化施設の利用停止など、制約が過度にわたったのではないと思われる面もあった。もっともこの点については、PTAも反省すべきところが多々あった。活動を休止し立ち止まったPTAも、決して少なくはなかったからだ。

前例や正解の無い問題に対して、私たち大人がどのように臨んでいったのかということ、子ども達は実によく見ている。大人の行動と、それに対する子ども達の観察、そしてその子ども達の行動との間に生まれた相互作用こそが、最大の教育となった1年であったと考える。

その意味で、私たちの悪戦苦闘がどのような成果を生んだのかは、このコロナ禍において福井市で育った子ども達が10年後にどのような大人になっているのかというところに表れてくるのかも知れない。

ともかく、この特殊な1年における試行錯誤を、前向きにこれからの教育事業・活動につなげていくことが、福井市教育委員会と市P連の課題である。